京城日報

十二日夕刊 （夕刊併せて一部）

本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
電話番號 [illegible]

◎對英講和條件 獨逸新聞の平和論 英國は稍軟化し來り

昨年に於ける獨紙の論調は平和に對して至難なるも英國は稍軟化し來り 新聞は講和に加ふべき行を揚げ獨逸の言論界稍寛容の色あり一月三日の獨逸フランクフルター新聞は獨逸は其の最少限度を以て講和條件となし專ら妥協に依り平和を達成せんと即ち其條件は

（一）帝國及び同盟國の領土保全
（二）獨逸の承認し得る限りに於ける植民地の變更改訂
（三）海の自由

等とす英首相ロイドジョージ氏にして此提案を承認し講和を潮くにあらんか之れ大に喜ぶべき變化にして平和は速に成るべしと述べたり（[illegible]）

◎講和談判地交渉不調か レーニン政府の最後決心

露獨講和談判地に就き露國側はストックホルムを主張し獨逸側は飽迄ブレストリツスクを固持せるが又露都にても可なりとて相譲らず斯くして交渉は行き惱みつゝあるがレーニン政府は若し交渉不調に歸せんか戰爭を繼續せんと決意し居れり倚ほ東清鐵道に著せる情報に依れば過激派政府は各政黨と一致して徹底的に戰爭を繼續せん爲め一大動員を爲したりといふも信じ難し（哈爾賓特電）

◎反過激派勢盛ん 佛國芬蘭の獨立を承認す

ドゥトフ將軍の部隊は韃靼、バシュケル二人種より成るチエリヤービンスク附近一帶を占領しアストラハン、ヴォルガ、カスピヤン海の各地方亦之に呼應して起ち反過激派の氣勢日々に強大となりサラトフ、サマル地方に於て兩軍の間に大衝突ある可しと豫想され居れるがオレンブルグ地方亦た哥薩克の勢力日々に加はり同市は全く哥薩克兵の包圍の下にあり又芬蘭は正式に獨立の宣言を爲し佛蘭西は早くも之を承認したりと（哈爾賓特電）

內閣を抛げ出せし王總理（上） 後任に推薦されし田文烈氏（右）と段芝貴氏（左）

◎駐日露大使罷免 日本駐剳

過激派政府は露國大使クルペンスキー氏の職を免じコンラッド氏を以て之に代ふ可く、同時にポルサット將軍をも免職す可しと（東京電報）

◎英國海事上の改革 第二海軍委員任命

ファーガス[illegible]フランシス[illegible]氏は第二海軍委員に任命せられたり[illegible]氏の任務に增加せる監督事務を取扱ふ爲めなり（倫敦電報）

▲英國海軍は第二海軍委員を任命せるが今回の改革は表面何等の大改革と見ねざるも事實上の改革にして即ち海軍第一委員は海軍政策を組織し近海局、外洋局、通商保護局を統べ海軍政策の大問題、艦隊の配置、作戰及び指揮を掌り[illegible]は艦隊司令官の權限を冒さざる範圍內にて近海を分掌し海軍委員次長は外洋問題を取扱ひ第[illegible]海軍委員は商船の保護を擔當し[illegible]

◎獨潜艇封鎖擴大

伯林公報は獨逸の潜航艇は[illegible]の海岸地方に於ける敵の勢力下にある地點の周圍にアゾレス群島及びダカール及び其の周圍の封鎖區域はマデイラ東方に擴大されたりと宣言せり（アムステルダム電報）

◎王總理正式辭表

王總理は武力解決の大勢に抗す可からざるを知り既報の如く段芝貴及び田文烈の兩氏を後任に推薦し正式に辭表を提出せり（北京特電）

◎憲法會議で一段落か 浦鹽の形勢＝海軍の援護か 西伯利亞歸客談

十一日の京城日報を見ると、浦鹽が愈混亂狀態に陷つたらしいが、吾輩の同地滯在中既に斯く成るべき兆候があつた、吾輩が往路イルクーツクを終點として同市の視察を爲し、將來西伯利亞に於ける

▲商工業の中心 は恐らく此地の占むる處と成るであらうなど、形勢何となく險惡なる雲行にも、憾な事に考へを及ぼす丈けの餘裕はあつたのだが、引返へして哈爾賓に來ると、同市もチタも前後して過激派の兵と穩和派の人數が衝突して大混亂を生じたといふ報に接した、兩地とも吾輩の出發後十日許り後に起つたことである、夫れから哈爾賓を引揚げて十日許り浦汐に居た際、今度は哈爾賓で露支兵の小競り合をやつたと聞いた、丁度吾輩は十日の間隔を置いて

▲暴動の先驅を 勤めて來た樣なものだ、浦汐の友人等は、貴公が去つて十日經つと浦汐にも何か起りはしないかと、つかぬことを言つて居た、笑談とも必ず無事では濟むまいと考へもし云ひもしたが、果して物々しい形勢に成つて來た、電報に依れば同港の領事團は居留民保護の爲め東方面よりの兵力援助を受ける筈だとあるが、東方面とは何國を指すのであらうか、同港に領事を駐在せしめて居るのは、日、支、英、米、白、諸等の諸國で、居留民は

▲日支人最も多く、次いで近年著しく增加したる米人の二百乃至三百、其他は何れも極少數に過ぎない、從て若し海軍の援護を受くるものとすれば、差當り日本の艦隊が[illegible]參加することに成りはしまいか、同港に於ける[illegible]艦隊なるものは[illegible]ないが[illegible]

▲市街戰の心得 もあるまい、[illegible]敵として起つので[illegible]

▲過激派を嫌忌 し、一般の露國の知識階級は云ふに及ばず、大多數の國民は[illegible]のは無論である、夫れにしても[illegible]に鋭火を交へたとして、勝敗の決は[illegible]ケレンスキーの一派に好感を懷いて居るのに、却てレーニン等が時を得て政權を把握せるは所謂時勢である、而かも此勢の消長は[illegible]來る一月十八日を以て開催せらるべき憲法會議の成行に依り決せらるゝかも計られない、何うも此邊で一段落つきさうだ、憲法會議には全露國及び東支鐵道沿線を六十九選擧區に分ち、少きは一二人、多きは三十六人の代表者を選出せしめ、總數約

▲八百の代表者 を出席せしむる筈であるが、同會議に向つて一應の期待は繫け得べきものと思ふ、但し過激派は同會議に對して[illegible]を續行する積りのことも[illegible]あれば問題に延長さるゝ[illegible]

◎總督實業家招待

十二日午後六時より總督官邸に於て[illegible]京龍の[illegible]各代表者重役其他民間實業家內鮮人五十八名を招待[illegible]各部長官以[illegible]

◎王世子引接

十一日午後九時御着京城に入らせらるべき李王世子殿下は十五日午前十時より同十一時[illegible]に於て[illegible]引接相成るべく[illegible]大々通牒を發せり

◎辭令

十日附を以て左の如く辭令あたり
[illegible] 西 生忠
任朝鮮總督府[illegible] 叙高等官四等[illegible]

◎農銀統一計畫內容 殖產銀行の設立＝公稱資本金八百萬圓 公募六萬六千株＝政府持株は增加せず 度支部長官代理 有賀理財課長談

現在の六農工銀行を統一して殖產銀行を設立すべき計畫あることは既報の如し、殖產銀行法案は昨年來當方を經て法制局に廻附されたるが最近法制局に於ける[illegible]

▲目下審議中 なれば原案が如何に更改されるかは不明なるも、原案に依れば公稱資本金八百萬圓、一株五十圓、十六萬株にして最初一株二十圓の拂込みをし、政府の持株は增加せず、從來の持株三十二萬九千九百六十圓を新株に引直すに止め、即ち六千五百九十九株を政府持ちとし、農工銀行の現株主に五萬六千九百九十九株を割當て、各拂込額に對しては、各銀行の現狀、各株式市價の如何に拘らず平等の權利を與へて殖產銀行株に乘換へしめ、殘り九萬六千四百三株を公募すべく、而して本店を京城に置き各農工銀行を支店に改むる豫定なり、殖產銀行設立の趣旨は、各地個々の微力なる小銀行の存在は、日に益々進展し行きつゝある

▲鮮地の經濟 狀態に伴はざるに因り[illegible]其如何に活躍せんと欲するも出來ざる[illegible]の要求を滿し得べくもあらざるは勿論にして、一方農工銀行の現株主も亦大銀行の株式に乘換ゆれば一擧にして安全と利益とを併せ得る譯なり、然るに各農工銀行の現狀は咸鏡、慶尙等資產及び營業狀態の良好なるものと、漢湖[illegible]の如く成績不良なるものとあるを一列同仁

▲對等の權利 を與へて併合するは頗る不公平なるの觀あれども、政府は利子の補給を爲し併せて十分の利益配當を保障すると同時に成績不良なる銀行に對しては之を改善して他と同一の狀態に進むべき援助を與ふるの方策を有するに依り、何等不公平の譏を受くべき理由なし

◎徵稅成績良好

本年度の一期分地稅調定額四百八十五萬圓は昨十二月を以て納期としたる處[illegible]五十萬圓[illegible]十一月末日迄に納入を了したり地方經濟の狀況良好なる爲め何れも納期中に完納されたるは[illegible]

◎年賀郵便概數

京城は六百三十餘萬通、全鮮二千五百萬通內外 京城市內に於ける年賀郵便の數に就き當局の調査を聞くに、通常郵便の引受數は三百四十八萬一千七百四十四通にして之れを前年の二百八十四萬[illegible]通に比すれば二割二分の增加を示し又其の配達は二百八十二萬五千六百通となり前年の二百十五萬二千通に比し一割三分の增となり居れり而して右は引受を十二月十五日より二十九日までの[illegible]

◎京電總會提議 重役の改選

京城電氣株式會社今期株主總會は本月二十九日東京麹町區有樂町[illegible]に於て開會に決定したるが同會に附議すべき議案は[illegible]通常議案の他大橋新太郎、白石直治、山口太兵衞、伊藤幹一、下郷傳平及び岡正交氏の六名の取締役任期滿了及び岡正交氏死亡に付き七名の取締役改選を行ひ又岡專務に對する功勞報酬金贈呈の件等を附議する筈なりと尙ほ同社支配人木本倉二氏は今期總會に取締役となり更に故岡氏の後を襲ひて專務取締役に昇任すべき豫定なれば同氏の後を享け支配人には現營業課長島田房太郎氏の昇進を見るに至るべく營業課長後任には同社內の某氏就任說あるも未だ確聞する所無し

◎鳥居通譯官講演

警務部通譯官鳥居忠恕氏は十二日午後一時より京城分隊講堂に於て近西伯利亞及び浦鹽地方視察に關する講演をなしたるが聽講者多く[illegible]

人事消息

▲村瀨鎌治郎氏（釜山駐在支那領事） 十二日午前釜山へ
▲中嶋海軍主計大監 十一日午後平壤より入京浦項へ
▲武藤秀王臨事務官 十一日午後釜山へ
▲スペンサー氏（東京駐在米國大使館附書記官） 十二日朝入京朝鮮ホテルへ
▲德川家正氏（北京公使館附書記官） 十二日午後五時四十分發北行
▲中村孝三郎氏（慶南警務部長） 十二日朝退京

○戊午元旦日雪
恭賦 寄題海邊松 服部江南

迎○日○瀉○頭○松○拜○東○元○帝○戴○寺○天○紅○
王○龍○鱗○甲○萬○年○仰○皓○鶴○羽○毛○千○歲○同○
蓋○影○浮○時○波○倍○綠○聲○音○動○處○氣○逾○雄○
煙○塵○不○到○蓬○萊○路○闊○看○先○瞻○飄○緲○中○

◎黎、石討伐令電命

政府は十日黎天才、石星川の討伐令を發し曹錕、王占元、趙倜、吳光新等に共同討伐を爲す可く電命せり（北京特電）

◎馮總統討伐眞意 譚浩明の岳州攻擊聲明

馮總統は十日夜參戰督辦公署を通じ王占元、曹錕兩氏に對し吳光新、趙倜と協同して石星川、黎天才、王安瀾等を討伐す可く命令したるも右は武力解決に決せるに非ず其の眞意は該討伐は格別之を[illegible]へ一[illegible]せば南方と容易に妥協し得可しとの考慮に出でたるものゝ如しされど譚浩明氏は北軍にして湖南を侵すか或は石星川を攻擊するに於ては一擧直ちに岳州を攻擊す可しと聲明し居れば總統の考ふる如く好都合に運ぶや否やは頗る疑問なり（北京特電）

◎雲貴軍自流井を占領す

雲貴軍は其後自流井を占領せり 第二兩師團の四川軍將校は南京に赴きたるもの多し（北京特電）

◎練習艦鎭海著

練習艦磐手淺間の兩艦は十一日鎭海に入港[illegible]二週間碇泊す可し（鎭海特電）

◎柿內專務通過

漢銀行專務理事柿內常次郎氏は十二日朝釜山着午前十時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◎京城小學校新設

[illegible]小學校の設立は一月九日附を以て認可せられたり

◎李載完侯一行出迎

十三日夜御入京の李王世子殿下御出迎の爲め侯爵李載完、同尹澤榮伯、同李完用、子爵李秉武、男爵李允用、男爵金春熙の諸氏一行は十二日午前八時四十分京城驛發列車にて釜山に向け南行せり

◎師團長歸任期

北鮮部隊及び豆滿江沿岸視察の爲め出張中なりし第十九師團長立花小一郎中將隨員田崎高級參謀小出參謀石川副官一行は十三日午後七時平壤より歸任の筈

◎金物商役員改選會

京城金物商組合にては十一日夜町松翠樓に於て決算報告役員改選會を開き其の結果組長に釘本藤二郎氏、副組長に佐賀彦藏氏何れも重任となり評議員に左の八氏當選したり
柿田助作、[illegible]

[illegible]頗る有益なる講演なりき

水田の約六分の一弐萬町步[illegible]取り卷きて四方五里の中に位する地の利を占め居るが[illegible]五萬なり昨年の收穫米は十五萬石金壹千萬圓に[illegible]なりと豫測せらる[illegible]はざるを得ず米價の騰貴は地主に[illegible]論有ゆる[illegible]が余は之れにつき[illegible]好傾向を[illegible]ぞ即ち（一）米價の昂騰[illegible]貰となり從來土地に愛着し[illegible]（二）鮮人[illegible]收を圖り土地を集約せんと[illegible]念慮を起し且つ價格の[illegible]めて改良種を栽培せんと[illegible]を生ずるに至れり（三）勞働[illegible]昂上は勞働神聖の感念を生ぜしめ同時に勞働賃錢の節約をも考慮するに至れり、即ち小作者には[illegible]を運搬せず、現金を以て[illegible]付する

もの多數となれり（四）籾摺業の勃興に伴ひ彼等は競ふて之れが勞働に從事し勤勞の美風を家族に及ぼさんとし且つ籾殼は燃料を補ひ又肥料に利用し糠は肥料として家畜の飼料に充て碎米は食用に供せらるゝを自覺するに至れり（五）[illegible]農は稻作畑作に勤勞を限り從つて得る處少く屢々飢饉と戰ひ來りしが、今後は農家の副業として[illegible]を生ずるに至れり見よ[illegible]依りて不足を補はんとする[illegible]に生業なき時は遠く內地に出稼ぎをなし工事を遂ふて[illegible]へあるに非ずや。右の現象は朝鮮農事の發展上實に祝賀すべき事なりとす[illegible]

□內地人士に告ぐ（一） 朝鮮の農事投資益有望 京城 浪士 投

予は昨年出穀期に際し所用ありて朝鮮米產地の中心たる全北道の泰仁驛に赴き出[illegible]の旺盛と朝鮮農事の有利なるを見聞せり夫につけても何故內地資本家が奮つて投資せざるか寧ろ不可解の感を抱けり、茲に其見聞の狀況を概記して內地人士の猛省を喚起せんとす。最近二三年間に於て內地到る處泰仁米として名聲の嘖々たるは米質の佳良數量の影響並に籾摺業者の活動に原因すべきも、事實は[illegible]斯くの如くにして[illegible]生じ農事資金に[illegible]剩す處多く從つて[illegible]後米種の改良收穫は期して待つべく又鮮農自身も[illegible]に比し二割以上の騰貴[illegible]朝鮮の土地に投資して[illegible]が如きことはなかるべく[illegible]經濟狀態より推測するに[illegible]價を下らざるべく然[illegible]きのみか地價の騰貴にも[illegible]利する處多かるべし。

憐れな人々のために 宣教師團でも活動

◇大方の篤志家の賛助を乞ふ 事務所は中央基督青年會

酷しい寒氣に行倒れて凍死するといふ悲慘な死を遂げる憐れな人々を救濟する爲めに京城では先頃より救世軍本部で温飯や薪炭を施して居る事は本紙の屢報道したる處なるが京城外人宣教師團でも同じく懸命となつて貧民救護に力を投じ活動してゐる

◆事務所は 鍾路の中央青年會内に設けられ尹致昊氏を委員長とし實行監督には英人宣教師のハーブス氏が干與りそれにスミス氏や世富蘭偲醫專學校長のクンス氏などが委員となつて既に

◆五百餘名の貧民救助 十一月五十人を限つて一食宛温飯を施してゐるが「吾等の窮民は限りも無く出て來るので今や教會では一般の篤志家に訴へて再度資金の調達に目を廻して居るのです」と委員の一人は語る此の際憫れた貧民救殘者に惠みの喜捨を下さる篤志家は

◆穀類でも 金品でも古着類でも何品に拘らず事務所の方（電話三百九十二、二千百二十六、一千七百八十二番）に御通知下されば直ちに受取りに出づるといふことになつてゐるのです其れと共に一方細民の調査に就いては我會から委員が方々出張して實地に調査し或は警察官署や京城府にも依頼して調査の歩を進めてゐる

◆其の救助者は 身寄りなく全く身を寄せる因縁の家もない者、又は瀕死の窮状に陷つて居る者、老衰して自活の途が無いと云つた風の群れであるといふ。尚ほ其の實行方法に就てスミス、クンスの兩氏は十二日朝本町警察署を訪問して其の實行方法について相談した

寒さと飢に苦しむ 哀れなる人々を 吾等は斯くして救はんとす

―救世軍司令官 フレンチ大佐寄書―

凍るばかりの寒空に!!家もなければ家族もなく、絶望の極に打沈める、哀れ孤獨の窮民に對しての讃美すべき救世軍の救恤、一層

◆一層の熱烈なる努力もて敢行され、個々の伏屋にまで食と薪と衣類までが救助隊の手によつて配付されつゝあるのである

救助隊にて見出されし一人の悲慘なる老ひし婦人である頼るべき力となる息子は彼女には孫なる二人の幼き男女を後に殘し此世を去りつれば、憐れなる

◆この老媼 は自分の糊口まで外に、この二人の幼兒の糊口までもなさなければならないやうになつたので、そが料として老媼は昨年まではねながらに洗ひ仕事をし、辛うじて得し僅少の賃もて僅かにも三人の玉の緒つなぎけるに、昨今の凍らんばかりの寒威に、老衰せる彼女の身體、噫!慘!彼女が唯一なる

◆糧の途は 脆くも剥ぎとられしかば、三人の者は、飢と寒さと疲れと惱みとの果てに、痛ましくも死の手に捕へられつゝありし刹那!救ひの手は救助隊によりて彼等三人にかゝりし總ての惱みは、拭ふが如くに取り去られ、今は早や、温かき團欒の中に嬉々として笑める

◆幼兒二人 と光明と感恩の念に滿たされし老媼とを見るに至つたのであつた……（斯の如く救多寄る遅消の拾小拙）は救世軍の救ひの手により日々復

□東宮御見學 大島へ御渡航

東宮殿下には來る十九日伊豆國大島へ御渡航御學遊ばさるゝ筈なるが御成年式を了らせられたる後は更に朝鮮、滿洲及び臺灣等へも行啓あらせらるべしと漏れ承はる（東京電報）

◆◆食と薪と の施與

る、去る木曜日には六十人の多勢に向つて、ホンの僅か一二錢の代價にて、彼等が家族共々夜もすがら心地よき温かさを保たるべき多分の薪が施與された、救助隊が探しゆきつゝある窮民の小屋々々では、たゞに食と薪との施與のみならず著物さへも、與へなければならないやうな素裸同樣の者も見出される、その悲慘の一例は救

◎攝心會見參記

◇寺らしくない評判の寺

□正幼下に住す數十の居士さん禪宗だ禪學だと攝心だ修行だと近來評判も高くなつた神的思想の修養をして居ることは兎に角も感心した話である一度其門を潜つて見たいと思ふやうになつた矢先きに十一日の晩から十五日の曉まで長谷洞の妙心寺別院で新年の初攝心が行はれると聞いては十一日の午後六時さて云ふに積んで交叉點から電車に乘り若草町の終點で降りて清溪川の流に出で

川を渡つて二三町下れば某居士から教はつた通を行くと川端に低い温突家があつて黑塗の打貫き門に『臨濟宗妙心寺別院』『大雄普覺禪師書狀提唱』と肉太に書いた看板が掛つて居る、寺らしくもないが評判の妙心寺は此處だナーと首肯かれた。右の潜戸を衛と這入て見

たが寂然として聲一つせない只障子には電燈の光で幾人かの頭が並んでゐるのが見へる。兎に角正面の戸を押し開けて這入ろうとすると劈頭第一に度膽を拔かれたのは玄關に並んだ幾十足の下駄!俗家の玄關だつたら亂雜で民の踏み場もないのであろうが皆左り向きにキチンと並んで一髮を入れる隙もない氣持のよさ兼て某居士から『看脚下』だの『照顧脚下』だのと聞かされて居つたが成程禪宗は足下から敎錬が行屆いて居るわいと感心せざるを得ない。『御免なさい』と案内を乞ふ勇氣も出なければ誰一人出て見るものもない。

ザー積み上つたものかゝゝに上つたものかが發せないが隱何打が無くなつたやうな氣がするではないか。某居士が口癖に禪學を遣つて見玉へ『行脚路は關所超ゆれば又關所』へ『五十三次馬の屁の數』など、狂歌にもある樣に禪宗には隨分多くの關所もあるが又面白いものだと聞いて居つたが今現に一の關所にブッ衝つて居る、がこれに弱つてはならぬと云ふ感が起つて來る。同時に是れからどれ丈關所があるか知らんと思ふと薄恐しいやうな氣持にもなつて來る。然し當つて碎けろ兎角行ける處まで行つて見るまでだと糞度胸を極めて見ると早く中に這入つて見たくて堪らない。ズ

ーッと上つて右の襖を開けて見ると驚いた不意に劍道の達人から面をシタタカ打たれたやうに一時は眼が眩んで見わけもつかぬ冷水の一桶を打ち被せられたやうに全身が顫へ上るやうな氣持になる、茲に到つて全く駄目だと思つた、漸く氣を落ち付けて見ると大岩石の衝き立つたやうに我慢の鼻先に眞黒いものが鎭まつて居るではないか。そして炬の如き眼からは射るやうな光を放つて居るそれは雲水姿の一僧であつた。其外數十名は謂いた達磨然と坐つて居る秘肝が...到底も話すことも出來るものではない。サー!これからがどうなることか我輩の度胸は滅茶々々に成つて胸の中には早や早鐘が撞き出した（續く）一記者

◎北陸の大雪崩人家を埋む

▽三千名の人夫發掘に從事し ▽死者生存者五十七名を掘出す

長岡地方雪崩の爲め三千八百五十を喪ひ父母に離れ兒を喪ひて號泣するあり酸鼻言語に絶すと傳ふ同日尺幅一千八百尺埋沒面積約四千坪堆積の深さ三十尺にて約三千名の人夫掘出しに從事し十一日迄五十七名を掘り出したるも二十九名死亡し救助されし者も腕を折られ足を新潟縣の前電報は長さ百七十餘間の大雪崩落下し電線不通となり物資供給の途全く絶えたり（大阪電報）

◎多額の生命保險金 ……は遂に其日に死亡するの不幸あり……（以下不鮮明）

◎大阪角力紛擾

原因をば時津風に歸するものとし彼が無斷

◎飢と寒さに 絶望して自殺

京城長沙洞卅四番地西島某は妻子及び實弟を合せ家族五人あり其の日稼ぎにて辛くも一家の露命を繋ぎ居りしが近來の諸寒に仕事もなく全く飢餓と寒氣とに苦しめられて悲觀したる餘り十一日午後六時頃妻の不在中自宅にて苛性曹達を二回仰ぎて自殺を企て苦悶中を發見されて應急手當を受けしが生命危篤なりとは氣の毒なり

◎巌手縣の大火

▲久慈町全滅す

巌手縣九戸郡久慈町に大火あり約五百戸燒失し同町は全滅の慘状を呈せり（東京特電）

◎四温の日に 京城婦人會で

十一日京城婦人會より救世軍本部に對し金十五圓を寄附し……（以下不鮮明）

◆同情に添ふべく 覺悟いたして居ります

活の新曙光に浴びつゝあり、窮者施與の食と薪と衣類、救世軍まで申込まれたし、委細はフレンチ大佐迄に。

の消い御同情を何よりも、そして御寄金をも感謝して頂戴するものであります。かくて私等は何これより時にのぞみ所に應じて應分の力を致すに吝なるものではありません。必ずやこの御同情に添ふべく覺悟いたして居ります御援助下される御厚意を感謝して頂きます。京城婦人會の皆樣にも宜くこの言を御傳へ下さいますやうに。――フレンチ大佐の眼は悦びに輝いてゐた。

◇初日の躁動者

◎內地人慘殺さる 全南

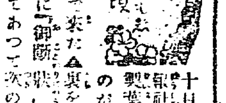
十日午前十時頃全南羅州郡邑內を距る一里大湖里に居住する前田熊次郎（四二）は年末から何者にか慘殺され居るを發見急報に依り木浦支部より檢事は書記及び熊野公醫を同行し七日出張取調中なり（木浦）

◎講道館鏡開

十日午前十時より大和町憲兵隊内の道場に於いて講道館朝鮮支部の鏡開式を擧行……

◎青物が尠い

冬季の青物市場は今が一番閑散の時季であるが本年は例年に比較して特別に淋しい、稀有の嚴寒が續くせいか或は內地は寒が多くそれが爲めに唯一の供給地たる下關方面の蔬菜、水菜、蕪、蓮根など……（以下不鮮明）



春場所星取表

（表中の○は勝●は負ヽは分▲は預）

（星取表 不鮮明）

商況

東京期米特電 / 兵庫期米 / 深川正米特電 / 大阪株式特電 / 大阪期米特電 / 下關期米特電（相場表 不鮮明）

雜報

◎三品更に低落

十七圓九十五錢 二限五十一圓九 十五錢

綿布

十七圓 八十七錢 手三百二 五十錢高

方案棉は一圓 現

物は十八手三百二 龍レ十一圓二 三十錢、三銘十一圓

◎洋釘値上げ

力を引締約五十錢

◎平板又々昂騰 三圓十錢

迄落込 又々二十錢高 三圓五十錢

◎石油は強硬 直安當時

買過ぎ反動で一時 斯る奇現象を呈

◎亜鉛線一圓高

現物は調子に乘り過ぎ居る

◎花子は強硬 當込み

◎粉米好況

◎綿糸次第に直る

普通上品八十錢見當

下關相場

持品少 九圓五十錢處

持合 揮發油輕油

之又內地高に伴

◎金巾稍小安し

五圓安三百 五圓見當に下

◎釜山煎子強硬

◎內地出廻り薄

筋望み尠 一方思惑

◎洋釘市況活潑

次第に加はる思惑買進

生魚市場

商標變更廣告

仁川期米 十二日前場（保合）

釜山穀物（十一日）

仁川正米

南大門廻穀

仲買店

市場雜觀

東京二十三圓九十四錢 兵庫三十八錢

仁川米豆取引所 十二日の三月限

廣澤正次郎

迅速確實

天氣 曇り後晴れ

大阪天候晴天

▲十二日後場 …………二十圓四十五錢…… 十一月限…… 十九圓九十錢 二十圓平均値段九十九錢……
▲先限一節二十圓四十五錢六錢七錢 二節四十七錢六錢三節四十七錢 四節四十七錢八錢九錢八錢七錢

平均値段 一節 二節 三節 四節　二十圓四十七錢 二十圓四十七錢 二十圓四十七錢 二十圓四十八錢

●滿蒙開發と鮮銀の使命
莫大の富を包藏せる滿蒙の開發は一に豐富なる資金の流入如何にあり矣！

朝鮮銀行の金券統一金庫事務引繼等の爲め昨年末來滿洲に在中なりし横山鮮銀司事歸京の途を五龍背驛に迎へ刺を通ずれば正金銀行よりの引繼事務は極めて圓滿に終了しましたが、年末大晦日の引繼でありますから隨分大車輪になつて引受けたのであります現在は約二十五日で主として大連に居りましたが旅順へも一寸出掛けました、が各地とも極めて好景氣で何より結構な事であります金銀問題も大した事はありませんが

▲鮮銀としては 銀に對する研究今少し深酷にして居たらばと云ふ氣も起りましたが是れは或は私一個の考へに止まる事だろうと思ひます、要するに『自ら侮つて人之を侮る』とやら云ふ事もありますから今回の變に對しては官民上下協同一致して其の目的の達成に努力せねばならぬ、從つて滿洲の責任者たる鮮銀は一層の努力盡瘁を要する譯であります其結果は

▲支那國幣制の 改革に多大の影響を及ぼし其の時期の遲速の岐るゝ處となるだろうと思はれます、勿論支那國幣制の改革は早晩行はれるもの而して金本位となる事は期して俟つべく只其の實現は時期の問題に止まつてるものと思惟して支障ないだろうと思ひます、今回の内にでも某地の如きは内地人が却つて銀を固執してるにも拘らず

▲反對に支那人 から金を希望し銀行に對して請願的希望を申出でた箇所さへあるのですから支那人と雖も商業上の取引が畢竟一となり敏速となるのであるから大局から見て不賛成の筈はないのである、が一面不便の點あるのは銀行としても十分洞察し幷び便益方法は出來る丈け講じ且つ正金としても相當に講じられる事になつてるので其の爲めに大なる

▲不便不利益を 蒙むる樣なことは萬々あるまいと思ふ、由來正金は世界を相手とする日本唯一の爲替銀行であると同時に世界的の大銀行である、從つて其の活動の範圍も極めて廣漠たるものであるから決して滿洲の如き一局地を眼中に於いては居られないだろう其の爲めに今回の如く極めて圓滿に交渉がまとまつたので其の

▲餘力は直ちに 南洋其の他各地に伸長される事と思ふ、是れは國家の爲め大に慶賀すべき事である、乃で蒙古は先づ別物として滿洲のみに於ける私見を披陳すれば滿洲小とは雖も鮮銀に取つては實に大なるものである、殊に滿洲は是れからだと云ふ立場にあるので

▲鮮銀の責任は 極めて重大なるものがあると共に向後金融機關としては別に三三を要するに至るであらう、例へば東拓の如きは其の一つである、又其の發展の程度も決して組織的秩序的ではなく意表の外に出る樣な突飛的であらねばならぬ、此の時期を經過して初めて組織的秩序的發展に移るのであるから其の時期到達の遲速は今日の金融機關を與つてる者の經營施設の如何に歸著する、其の

▲遲速は國家に 及ぼす利害は實に多大なるものであるから金融機關と云ふ大切な機關を與つてるものは常に眼を其の邊に著けて此の無限の富不測の寶を包藏してる滿洲の開發の爲めには是れ又常に豐富なる資金の融通に對して注意を拂はなくてはならぬ、彼の遼西地方に於ける第二の撫順とも云ふべき大炭田、海龍城附近の大森林、其の他採檢採鑛の出來ざる所に何れ程の

▲遺利富源が横 はつてるかわからない其の寶庫富源の開發は懸て鮮銀の双肩に懸る重且つ大なる責任であろうと思ふ、茲に於て鮮銀なるものは其の目的達成に對しては最善の努力を盡さねばならぬ事となる

●鞍山（鞍）鐵新生面
設備費五十萬圓追加

鞍山鐵鑛採鑛局に於ては客歲同局を立山に移轉せし以來實地に關する採鑛上の研究を進め來りし處最近に到り從前豫想せざりし或有力なる新消息を發見し同鑛價値をして一層偉大ならしむるに至りたるが之れが爲め滿鐵にては新たに五十萬圓の設備費追加を豫算し既設製鑛所に大擴張を行はんとし目下支那當局と該交渉進行中なり

●在露俘虜警戒

哈爾賓の擾亂は一時平定に歸したるも復た何時過激派餘黨の勃發するや聞く如く且つ露獨單獨講和の際にも徐々其步武を進めつゝあるの際朝鮮講和成立せんか在滿獨墺俘虜が滿洲方面に侵入して事を企つる等の事なきを保せざるを以て鮑黒龍督軍は此等の不時に備ふる爲め政府に對し奉天二十九師全部を黑龍江省に移駐せしむるか或は黑龍省の警防隊を改編して興安嶺一帶に配置すべき旨を電請したり

●浦港不安と派兵

目下浦鹽は過激黨多數にて種々不穏の行動を敢てするとの報到り哈爾賓防備司令は二三日前陸軍數十名を該方面に派遣したり

●哈市出兵中止（奉天）

東滿鐵道保護及び同沿線の秩序維持は東三省の共同責任となし吉林の督軍も出兵し續いて奉天督軍も出兵すべく準備一切を備へたる處今や同方面の秩序一時鎭定したるを以て先づ出兵は中止する事となれり

●濱黑鐵道行惱

濱黑鐵道は著工期限已に經過したるも經費不足の爲め未だ何等の進捗を見ざるが聞く外交部は之れが急速の竣成を欲し又復た露亞銀行に借款を申込みたるも從前の借款は該鐵道督辦邢柱芳氏との間に商議行はれたるものなれば同氏との商議にあらざれば應じ難き旨を以て前記の要求を拒絶したりと露國側に於て報せり

●二道溝山積（堆貨）

哈埠擾亂の結果東鐵の輸送力減少し該鐵道沿線は堆貨山の如く二道溝の如きは滯貨數萬噸に及び尚ほ陸續集積しつゝあり各荷主等は何れも馬車を用ひて輸送し舊暦年末の準備を備へつゝあり

●氷の港

此後の寒さ如何では仁川港も遂に結氷か

七日以來仁川港内も遂ひに艀の航行が出來ぬ樣に結氷した、一望氷塊の連續せる樣は湖上の雪を見る樣で不凍港の仁川にはつひに思ひ掛けない奇觀である

◆去年正月に 漢江の流氷が港内を壓した時の外斯の如き現象は嘗て見ないが昨年の嚴寒を以てしても尚ほ流氷に過ぎずして港内の氷結を見なかつたのに今年は先づ干潮面に堅氷が來て繫留の艀の多くを閉ぢ込めて了つた、滿潮時になると潮と共に浮動して棧橋附近に張り詰むるので更らにどうする事も出來ない、斯の如くして早や其の

◆艀の作業を 杜絶された仁川港はどうなるか、七日以來艦隊の入港で海軍の上陸參觀客の往復等で稅關棧橋は相應に混雜したが艀の使用に堪へ得る場合は一つもない悉く滿潮時に於て汽艇が棧橋に氷を碎いて近附くの外更らに乘降は不可能である、偶々司令官を乘せた艦載ランチが浮動の氷田を突破して航行しようと企てゝマンと中間に立往生をさせられた等は以て其の汽艇の航行にすら頗る困難である事が窺はれる

◆出穀期の仁川に於て艀作業が全然出來ねのみならず或ひは遂ひに氷に閉ざされて自由を束縛さるるが如きは正に一大打擊であらねばならぬが天公の恨みは遂ひに如何ともし難い更らに此の後嚴寒打ち續いて氷點下二十度の寒氣が來るならば全く此の不凍港は結氷を免かれぬかも知れぬ、若し又將來に於て

◆第二期築港が 完成して月尾島の防波堤が成就したら潮流を無くする仁川港は一層結氷が容易となりはせぬかと今から杞憂を抱く者も尠なくないとは最も至極だが差當り此の後の天候は如何に變化してゆくか壯觀の極みを盡す氷の港の絶景は早く無なしたいものである

●露紙幣米國輸出

目下米國方面にて盛んに露國紙幣を買占むる者あり横濱に於ける留へは滿洲に比し一萬圓に就き一八十圓位の差額ありて最近滿洲より横濱に向け留の輸送極めて盛ん也

●鴨江運輸會社
資本金十萬圓　鈴木商店活躍

鴨綠江二百里に亘る航運事業は安東高羽秀吉氏數年前より資本金數萬圓を投じ更らに朝鮮總督府より一萬餘圓宛の年額補助の交付を受け經營し來りたるが沿岸各地の發展に伴ひ到底從來の程度を以て甘んずべきにあらざる狀態に立ち到りたれば昨年來高羽氏は事業の擴張を企圖し種々交渉の結果遂に神戸鈴木商店との間に交渉纏まり從前の個人經營を改めて株式會社となし不取敢資本金十萬圓とし從來の如く總督府よりの補助金は交付を受け事業經營の衝に當る事を決定し會社設立認可の申請は若しくは來月上旬には認可の指令に接すべき豫定を以て著々準備を進めつゝあるが愈々認可の曉ともならば從來の船舶にては不足なるを以て日本型船及び發動船を增加し運輸航行の便を一新すべき計畫なるが如し而して會社設立の上は社長には小川德長氏（現鎭南浦工場支配人）專務取締役支配人には高羽秀吉氏就任の筈にて小川氏は本月末頃來安其の上にて諸種計畫は發表進展を見るべき筈なりと

●鴨材と合板製造
有望なる新企業

目下大阪名古屋の二箇所に於て製造を開始し多大の好評を博しつゝある合板は乾濕の影響を受くること尠なきと容積及び重量を輕減する等製箱用として特長尠少ならざるより新義州三共製材所山田新助氏は鴨綠江材を以つて合板を製造するの有利事業たるを看取し是れが企畫中なりと云ふが同氏は製品を以つて茶箱其他の製箱用として支那方面に輸出する目的にて年額五六百萬圓の輸出を見つゝある製箱用材を合板に代へんとするものなり實現の曉は木材經濟の點より見るも普通製箱用材の四分板以上なるに反し合板は二分内外にて充分完全に外箱として使用し得れば裨益する處少なからざるべし

●漁船の遭難

一日秀島辯護士は釜山署へ告訴狀を提出したり（釜山）

木浦溫鄕洞 住廣島縣安藝郡三久世村杉中正太…

●硝子工業振興
斯業の計畫（雄中）

滿洲に於ける硝子器の需要は主として洋燈及び僅少の容器硝子器に限られたるも支那人生活の向上は漸次諸製品を需要するに至り大戰以來日本人經營の硝子工業は漸く活氣を帶び來り特に滿鐵の斯業に對する計畫は一層其有望なるを思はしめ關東州に於ける原料硝石及び螢石其他の豐富なるを利用して斯業を興さんと計畫中のものにして止まらざるが如く關東州の硝子工業是より振興の兆を加へ來れるものゝ如し

●蠶種製造高（平壤）

昨年度に於て成績最も良好なりし平南各府郡の蠶種製造高は春夏秋蠶を通じて配付用四千九百九枚、自家販賣用一萬五千百四十六枚、用四千六百四十二枚にして何れも内地種に屬し最も多きは順川、大同の二郡なりと

●優良大豆成績

平安南道に於ては大正六年度地方費を以て地主會に補助金を交附し大豆優良品種田を設置せしめたる成績は作付反別一千五百九反收穫高三十三石六斗三合にして反當收量は八斗八升八合なるが之れが耕作人員は百二十六名なり

●連絡船上陸客

十一日朝入港さくら丸上陸一二等客……佐々木晴……同み……

十一日午後釜山入港對馬丸二三等……

●留日學生選拔（奉天省各縣）

選出品目實業學生中未定の分に對し至急選拔する事となり奧京縣に於ては十月之が選拔試驗を行へり

●上海製紙業發展

上海にては歐戰以來洋紙の輸入杜絶したる爲め漸次品拂底を告げ從つて價格日に騰貴するを以て同地居留の造紙廠龍章、華章等は此機に乘じて大々的擴張を企圖し各機械を增設して盛んに製造を行ひ居れり

●正金引揚期（安東縣）

安東縣に於ける正金銀行出張所は既定の事實なる所其の後鮮銀への引繼等は極めて圓滿に落着したるも何ほ殘務整理を要するものあるにより平塚所長隣田次席の兩人は本月末若くは來月上旬を以て當地を引揚ぐべき筈なりと

●仁川の漁況

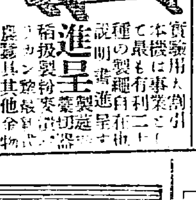
最近仁川近海の漁況は頗る閑散である十二月中に於ける漁獲の如き鮟鱇網を使用して沙魚及び鯖業を專業とする位のものに過ぎないので大したものはない、成績が亦十一月と十二月に入つて以來嚴寒の爲め激げしいので鮟漁は餘程の良好であつたらしい仁川は冬期になると主に依託物が多數を占むるのであるが例年内地から釜山方面への移入相應にあるに不拘本年は却て釜山から内地へ送り出したと云ふ現象を呈した爲め同方面よりの依託物も割合に少なく前月十二月より約三千餘貫の減少を示せる割には價格が好い爲めに僅かに一千圓位ひの減少で濟んで居る出漁船は日本船十四隻で三百五十圓朝鮮船五十五隻で六百五十圓其他に委托品の總額が八千三百圓に上つて居る魚價を擧げて見ると平均鯛の三十五錢鮪三十五錢鮑の四十三錢海老の五十錢鰤の二十二錢等何れも驚く計りの高價に在る

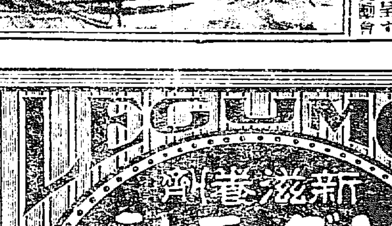
●叺製造奬勵

平安南道中和郡は道中叺製產額第一位にありかるが故に當局に於ても叺の製造奬勵に付ては技術員をして各製造個所を絶ず巡回せしめて盛に指導しつゝあるが叺は全部四斗入米叺にして現下集團的製造場所十七箇所あり而して原料たる藁の準備二十萬一千七百五十貫あり製造機使用臺數二百六十臺を算するの盛況にて本年中の製產豫想は十三萬四千五百枚此の見積價格三萬三千六百二十六圓なりと云ふ斯の如く其製產盛なるため本年二月の交に於て叺品評會を中和郡中和邑内に開催し益々斯業の奬勵を計る可しと

謝近火御見舞　京城南大門通五丁目　機械商　伊藤商店

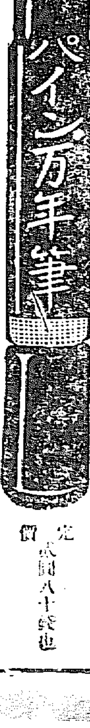
職業　日韓專賣特許品　原紙貸與……　上田總本店


大正式製繩機　實驗用大割引　本機は事業として最も有利……　進呈　說明書……　東京本所區長崎町二六　日本發明奬勵會

新築落成ご大勉强　背景に南山を控へ京城市街を眼下にし實に閑靜……　一日園　南山町二丁目


▽▽朝鮮名物△△　金剛飴　金剛山　京城本町　電話二十七番　四七五番　龜屋

ハカリ印のヘブリン丸が　かぜねつの最良藥として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗顯る的確なるに因る

堅牢無比　パイン『學生號』萬年筆發賣


讀者諸君の御希望により技術最も優秀なる『パイン萬年筆』製作所に命じ特に製作せしめたる此『學生號』はペンが小ひのと總ての粧飾を除き實用を專一としたために斯く廉價なのであります
▲『學生號』は『パイン』の長軸とも云ふべきもので外見は少しも違ひません
▲同じ『十四金ペン』同じ最上の『エボナイト』軸で此の耐久力高價の萬年筆に少しも劣らず
定價 貳圓八十錢也
發賣元　京城日報社代理部　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番

REGUMON　新滋養劑　レグモン
一日も早く衰弱を恢復せんとせば近時醫界の信認厚き新滋養劑レグモンを服用せらるべし、レグモンは……京都醫科大學教授森島醫學博士より有効滋養劑として醫界に推奬せられたるものにして多量の消化吸收性蛋白質と一種靈妙の作用を有する吸收性カルシウム塩を含有するが故に、食慾を振起し、榮養を佳良にし、總ての衰弱及び病的狀態を速かに恢復せしむるを以て、一般衰弱者に最も有効なる滋養劑なり（說明書無代郵呈）
定價　百五瓦入 金壹圓貳拾錢　貳百五瓦入 金貳圓貳拾錢　四百五十瓦入 金四圓五拾錢
大阪市東區道修町　一手販賣元　武田長兵衛商店

保險金受領廣告

一金壹萬五千圓也

大鶴次郎儀客年八月十九日横濱生命保險株式會社と保險契約致居り候處同年十二月四日病死致したるに同月卅日前記の保險金受領致候間廣告候也

大正七年一月三日　統營　御崎テル

品質第一　誠實第一　賣行第一
キッコーウリ　最上醬油　醸造元仁川港　日本醬油株式會社　京城出張所　京城大平通二丁目電話二四五番

豫報　▲京城溫度（十二日正午）……

左甚五郎

第百二十六席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

瀧五郎は栗原遠江を和めて 瀧『棟梁お前さんの顔に係はるやうなことは決してしッこは無ね、此の瀧五郎が受合つた以上は俺に任しておくんなせヽ……ヤイ此奴等ア、何だつて俺があれ程云つて置いたものを棟梁で表へ出した、とんでもねヽ心得違ひの野郎じやアねヽか何だ手斧なぞを持つて來やアがつて 〇『此爺で江戸大工を殺つけるのだ 瀧『馬鹿なことを云へ莚めね、さア〳〵棟梁、まア兎も角自宅へ歸つておくんなせヽ』と無理やりに自宅へ伴れて參りまして

遠江か、流石にホロリと涙を流して 遠『ウム天晴な覺悟だ、おはろく貴樣の倅に可哀想なことをした、然し今になつて彼是云ツ一つて仕方がねヽ、それじやア是から一ッ甚五郎の首を叩ッ切つて持つて來てくれ賴んだぞ 瀧『宜しうございます、少し待つて居ておくんなさい』と其儘表へ飛出した、スルと後から一人飛んで參りましたのは瀧五郎の弟子で常吉といふ男 常『オーイ親方、オーイ親方、待つておくんなせヽ』と蒐けて參りますから振り返つた瀧五郎 瀧『何だ常

瀧『借棟梁、大きに遲くなつて濟まねヽが少し是には仔細がある、俺の決心を見ておくんなせヽ』と云ひながら遠江の前へ風呂敷包を出し結び目を解いたのを見ると女の首と子供の首 栗『何うしたんだ 瀧『へエ、實は自宅へ歸つて女房のおはるに後の始末を豫め云ひ聞かせ別れを告げて柏屋へ切込うと云ふ時に女房が是々で、俺へ氣が廢つちやア及ぶ跪る、一と足先へ三途の河原へ行つて待つて居ると利吉を刺殺し自分は咽喉を突いて死んでしまつたに依つて、其の首を叩ッ切つて持つて來た、頭梁現在女房や子供を殺した瀧五郎未練なんざア決してござんせん、是から行て甚五郎の首を叩ッ切て持つて來るから何うか急ずに俺の歸りを待つて居ておくんなせヽ瀧五郎の腹の中は是でお判になりきうなもので』と云はれた時に栗原遠

常『何だつてお前さんが江戸の大工の集つてる處へ、只だ一人で切込むといふことを、役に立たないからが何うか俺も伴れて行つておくんなせヽ 瀧『イヤ、親方思ひの手前の志は感心だ、ダガ此の一件は決して人の手は借りねヽ瀧五郎が一人で脊負て立つ、それに就て手前のその志を見込んで賴みがある一ッ悟う〳〵悟ういふことにしてくれろ宜しか 常『エ、宜うござんす、ちやア親方ぬからないやうに』と蒐抜て參りました常吉が柏屋の表へ來て見ると、もう燈火が點いて柏屋の主人が帳場に坐つて居ります 常『エ、旦那、鳥渡何うか顔をお貸しなすつて 主『オ、常さんか、此方へ上んな 常『イエ、此處では少し話しがしにくい、濟みませんが鳥渡何うか表まで顔を貸しなすつて 主『何だイ常さん』瀧五郎の弟子で名代の柔順い男、平素から知つて居る者ですから柏屋の主人が表へ出て參りました、常吉は薄暗い處へ主人を引張つて來て 常『借旦那、大變なことが出來た 主『何だ、常『何に仕事の行きさつで此地の大工が江戸の大工を殺かしちやア江戸へ顔せねヽ、何のかのと種々騷ぎ出して俺の親方も頻りに氣を揉んで、大棟梁の栗原遠江にそんなことを耳に入れたない、又江戸の棟梁にも怪我がさしちやアならねヽから、種々心揉で彼方此方を宥めて居る然し大勢のことでどんな又間違いがないとも云れねヽ、デ親方が常、手前先へ行て江戸の棟梁を今の内に奥へ離れへお逃し申して置てくれろ大概誰も遣る氣遣ねは無ねヽと思ふんだが、又氣の早ねヽ奴が蒐抜けてそんなことをしめねヽものでもねヽ何うか今の内に江戸の棟梁を早く離れへと悟ういふことでございます、又是が皆さんの耳へ入ると、騷動が餘計持上るものだに依つて皆さんに穩く内々で棟梁だけを離れへお逃し申しておくんなせゑまし』早を聞いて柏屋は驚いた

東洋捕鯨株式會社特約販賣店
鯨問屋 香月商店
京城府明治町二丁目四八
振替口座京城四八四六番

京都 たまや出張店
旭町一丁目 電話一一九六

一月十四日 九星 舊十二月二日 [illegible]

演藝案内

黄金館 電話二六三七・三六六 [illegible]

有樂館 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 [illegible]

大正館 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇 [illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番 [illegible]

稲荷座 本町五丁目 [illegible]

募集 京城市外日暮里町 日本農事改良同盟本部 [illegible]

汽車 京釜線 [illegible]

男のひみつ病
內外醫科大學御採納、東京順天堂醫院始め博士學士證明、全快禮狀[illegible]
專賣特許眞空療法器 [illegible]
申込 說明書無代進呈
東京京橋本材木町三ノ廿五 東京新療法研究所
大阪市北區[illegible] 大阪新療法研究所
北海道函館[illegible] 北海道新療法研究所

眼科專門 金井眼科醫院
京城吉野町 電一五五六
[illegible] 入院隨意 日曜祭日午前中

西村眞太郎著 第四版
朝鮮語會話
[illegible]
賣捌所 大阪屋號、巖松堂、京日各支局
取次所 京城日報社代理部

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話四八四一 九四五 振替京城五七番

瀨戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番
醫學士 瀨戸潔
(診察夜九時迄)

資本金壹百萬圓
京城 株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熙
不動産抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店(開城、春川、大田、江景、公州)
所在地(淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院)
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of week constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50

滋養強壯料

〇ミツワ規那鐵葡萄酒

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ
治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

▼如斯人は滋養料〇ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、食餌の進まぬ病人
一、營養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人
一、産前産後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人

一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、頸細長く頰瘦け咳嗽や痰の人
一、並よりも多く出る所謂結核性素質の人
一、肺結核や腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病ただに永く苦しんで居る人

一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に惱まされて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹りて居る人

定價 一圓五拾錢 [illegible]

MITSUWA GINSENG WINE

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and force, is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power.

Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night sweat, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.50

模範強壯料

〇ミツワ人參葡萄酒

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き
身體の強壯を圖り鮮新活力を賦與し得べき

風味高潔淸和滋養豐富
精力增進興奮作用優秀

▼如斯人は強壯料〇ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、精力を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を強壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、病苦や不快な感じを忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人

一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、發育を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の度割けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色蒼醒め艶の無い人

一、手足や腰腹が冷て寢附れぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣く人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神苦々くする人
一、時々氣を失ふ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰萎遺精など生殖器神經に惱んで居る人

定價 一圓 [illegible]

京城日報
十三日朝刊
（朝夕刊併せて八頁）
發行所 京城日報社

京城日報

我國史と國體(二)

（上古に於ける韓半島開導と我が國體と）

我が國體は森嚴侵す可からざる神威を以て正と爲す。故に上古に神聖の韓國を經營するも、亦自ら神威を以てし、絶て侵略的野心に出でず。之を我が國史の古記に徵するに、[illegible]して謬誤すべからざるなり。

我が國史に於て、神聖の韓國を經營したる事蹟は、神素戔嗚尊の其の子五十猛命と共に韓國に天降りたることを始めと爲す。韓史の所謂檀國の祖たる桓君は、[illegible]五十猛命にして其の父桓雄又は神雄は、即ち神素戔嗚尊、其の祖桓因は神伊奘諾尊たること、歴史的考證に於て疑を容れざるが如し。

吾人は、我が國史の韓國經營に關する要點を摘み、韓國の開導は、實に我が上古神聖の神威、神德、神武に由りし事實を明にせむ。日本紀に云く。

素戔嗚尊、其の子五十猛神を帥ゐて降りて新羅國に到り、曾尸茂梨の處に居る。乃ち興言して曰く。此の地には、吾、居るを欲せず。遂に埴土を以て舟を作り之に乘じて東に渡り、出雲國簸川上なる鳥上の峰に到る。

此の新羅國と云へるは、上古よりの地名にして、後世の所謂新羅にはあらず。曾尸茂梨は普通に韓語にて牛頭を云ふ。今の江原道春川府は、古の牛首山城の地と稱せり。又云く。

素戔嗚尊曰く。韓鄕の島、是に金銀あれども、若使へ吾兒、所御の國にも浮寳あらずむば、未だ是れ佳らざる也。乃ち鬚髯を拔て之を散す。乃ち杉と成る。又胸毛を拔き散して、是に檜と成る。尻毛是に柀と爲り、眉毛是に櫲樟と成る。

此の韓鄕と云へるは、素尊天降時代に於ける原始地名也。又た其の鬚髯、胸毛、尻毛、眉毛等は、蓋し山林溪谷間に於ける森林布置の位置を比喩したるもの。素尊の韓國經營政策が、首として重きを造船材料に置きたるを知るに足るべし。又云く。

已にして其用ふべきを定む。乃ち之を稱して曰く。杉及び櫲樟、此兩樹は以て浮寳と爲すべし。檜は以て瑞宮を爲るの材と爲すべく。柀は以て顯見蒼生奥津棄戸將臥の具と爲すべし。夫の噉ふべき八十木の種も皆能く播し生き。

[illegible]的主張に對して、[illegible]勢力を要求する[illegible]開導は不可能事なるを以て、協商的關係[illegible]力せしも最早深く之を責むるを爲さ[illegible]其爲すがまゝに打ち棄て置く[illegible]協商機關[illegible]斯くに、露西亞の現狀のまゝに[illegible]國の味方たるの形を成す[illegible]彼の獨墺と和を講じて[illegible]其の[illegible]獨逸と單獨講和を取結[illegible]帝國は獨逸に對する戰鬪を[illegible]

の韓半島宗主權が神代以來、存立せし事は、斷じて疑を容れざる也。

王世子御歸鮮

李王世子殿下には、本月十日を以て東京御出發、一路平安、今十三日夜、御入京遊ばさる。殿下には、明治四十一年の春、太子太傅たりし、時の統監伊藤公に誘はれ、御遊學の途に上られてより、明治四十四年、御生母嚴妃の逝去に遭ひ給ひし際、若干日御歸鮮遊されしのみ、今日に至る迄實に八年間は東京にて御勉學遊され、客臘廿五日を以て、目出度陸軍歩兵少尉に御任官、今回の御歸鮮は、其御披露を承る。殿下御性來御孝心深く日として李王李太王に、御伺安なき時は無りしとか、されば今回の御歸鮮に、兩王殿下の御喜び如何許りか、恐察するに餘あり。

露獨交渉

東京 一記者

最近露獨講和交渉頓挫せることを傳道頻々として至るも、他の一方には露獨間に俘虜の交換を行ひつゝあるのみならず、軍需品供給に關する協議も進行中なりと云へば其交渉頓挫せりと曰ひ、談判破裂せりと曰ふは、畢竟交渉中の小波瀾を指すものに外ならずして、講和は依然進行中と見るを當れりとす。

露西亞は由來單獨不講和條約の參加者にして、同時に巴里經濟同盟の主動者なるを以て、今日のごとく擅まゝに獨逸と講和交渉を開始するが如きは、甚だ其當を缺くや言を待たずと雖も、今日の露西

みならず、翻て獨逸と同盟條約を取結びたるを以て、大[illegible]はせを爲したれども、是は當時の露西亞は實力猶ほ強大なる上に、千七百六十二年エリサベス女皇に繼いで新に位に即きたる彼得三世は、フレデリック大王を崇拜すること甚だしかりし爲めに、此場合に於ける露獨の講和は一大變局たるや論なく、佛蘭西は此有樣を見て、最早戰ふも益なしと爲して此に英吉利と妥協し、大戰役斯くして其局を結びたれども今日の露西亞は全く之に異なりて獨逸と提攜すべき中心勢力なるものなく、其兵力財力亦盡し悉くしたるの後なるを以て、假令單獨講和を行ふも、殆ど何等の危險性をも有せざるなり。或は露國領土の四分五裂すべき分裂の勢に乘じて、自己の保護國を扶植せむとするもの、如く、波蘭より波羅的地方に渉りて、獨墺の勢力範圍を劃するときは、露西亞は全く歐羅巴より隔離せられ、結局は獨逸の植民地たるに終るべし。是れ今日講和の事に當れる激派政治家すら、獨逸の要求に應ずるに躊躇する所以にして、一にも彼等にして獨逸の壓力に屈して、其の國土の分裂を承認せむか、露國内に於て更に大なる混亂を引起し來るべきや言を待たず、激派は己の獨逸に縁故あるを恃みて、單獨講和を試み、之に由りて自己の權勢を張らむと欲するが如くなれども、彼等亦遂に其對獨關係の爲めに自滅することなきを保せず。

民間競馬界に於ける馬（八）

田中[illegible]人

[illegible]

の諺に支那傳來の面影を留めて居るから、之れと同樣[illegible]駒の話は日本國記に於ける駒の[illegible]で、自分の一寸調べたところでは最も神秘的のものである。猶ほ此外に馬に關係のある諸國の馬蹄石や天馬石、御馬石などの話は省略するとして、暇先に斷つて置いた關係上、名馬生唼を磨墨に就て一言すれば、兩方とも幾人に依つて塚を建てられてあることが一二個所では無い樣だ。東京府下池上の本門寺近くにも兩方の塚を見るし、日本傳說叢書阿波の卷にも磨墨の傳說を止める夫馬石（勝浦郡小松島町）といふのと、磨墨の墓（同町）といふの二つあるなどはその一例で、特に前者のは昔磨墨が生唼に戰の功名を奪はれた無念さに、其怨恨を晴さんには、生唼の生國[illegible]

扶桑新詩

[illegible]
蕭堂曰、波瀾[illegible]
海邊松　降梅[illegible]
[illegible]
蕭堂曰、趣得老爽、氣勢磅礴。
歐肖千鈞之力。
海邊松　霜田庄次郎
[illegible]
蕭堂曰、天然如龍
海邊松　西疇　霜田庄次郎
[illegible]
蕭堂曰、海邊松　後半好箇可愛
海邊松　寒巖　和田世民
[illegible]　羽衣松
蕭堂曰、羽衣仙客已去松猶在
亦好題目

どうして

布施生譯　三十八

「いや何も有りません」と、武烈氏は輕く受流して、「私に尾行なぞつけた所が無質なら私が何故其女、いや其女ばかりでなく外の者にも話しかけたのか、何故あの破獄人の宅へ往つたのか、何もかもお了解になつた筈だと思ふ。それにいやそれとも御承知かな」と武烈氏は寧ろ半ばに不意にこう訊ねた。探偵長は其機鋒に肚膽を抜かれて

[illegible]を搜し出して戴きませんけ[illegible]搜索費用を[illegible]から其費用を出す心算か、それは一切明言しない。そして御主人は心配して居られるかと問はれると色を變へて曖昧な返事をする、御主人は召使の話は一切御承知は無いの、斯樣な事は一切自分に任されてゐるのだと言ひながら、それじやお御主人に御相談しやうと言はれると捕つてきくらとするんです。宜いですか御主人それはそうとして次に閣下は刑事と一應に其邸に捜索に往つたと思召して下さい。先づ第一に其女の部屋だつたと云ふ部屋に這入るのです、何が眞先にお眼につくと思召す、其部屋は諸論點で第一等の部屋では無い、しかし美しさは二の次にしても居心地のよさは斷じて普通の部屋とは違ひます、其上部屋の中には詩の本もあれば歴史もある美術書譜に科學書、確かに教育もあり躾もある貴婦人の所持品です、してみると其女は決して小間使と云ふやうな人品では無い事が分ります。勿論女中頭に之が分らない筈は無い、それから例の窓から引摺り出されたと云ふ一件ですね、あれは旅程表面は幾分か根據がある、しかし無理やり捲上げられて默々としたものとしては腑に落ちない點がい。

奉迎

紳士の御愛用には
敷島に限る

郵便切手は
参銭
壹銭五厘
壹銭

お慰さみの爲めに
敷島より各種郵便切手が顯はれます。御喫用の際には御注意を願ひ上げます

東亞煙草株式會社

奉迎

不二興業株式會社

奉迎

宮内省御用達
株式會社 明治屋京城支店
京城本町一丁目
電話一七三番

◎中部支那形勢混沌

▽各督軍の連盟破る

李純、王占元、陳光遠諸督軍等の連盟は陳討伐命令の爲に全く破れ中部支那は混沌たる狀態に陷れり殊に湖北の形勢は收拾容易ならざる模樣なり（北京特電）

◎王總理辭表再提

王士珍氏は再び辭表を提出したるが馮總統は聽許せず（北京特電）

◎代行國會を要求

直隸省以下主戰派十六省より參議院に於て新國會組織法、選擧法を議決せしめ新國會召集の準備として一面參議院をして暫く國會の代理職權を行はしむ可しとの連名電報到來せり政府は躊躇猶決せず（北京特電）

◎李、王の調停條件

李純及び王占元兩督軍は南北調停の第一步として陸榮廷氏を兩廣、湖南及び四川の巡撫に任命せんことを要求せり（北京特電）

◎廣東軍砲艦捕獲

廣東軍は福建軍に屬する小砲艦五隻を捕獲せり（廣東特電）

◎四鄭鐵借款交附

昨年來未解決にありし四鄭鐵道借款一百萬元（利息年七分）は金銀手分宛正金銀行より近く交付するに決せり（北京特電）

◎哈市正規軍編成

北京駐在米國公使館附武官代表者は哈爾賓官憲と正規露軍兵編成の件を協議せん爲め當地に來りたり右露軍隊は多分莫斯科に露本國を脫出し來れる哥薩克及立憲民主派士卒に依りて編成せらるゝならん西伯利亞電信線は追々平時狀態に復しつゝあり（哈爾賓電報）

◎露勃單獨講和

▽既に調印濟との說

瑞西新聞電報の報に依れば露國、勃牙利兩國の單獨講和調印され勃牙利首相は兩國間の外交及び經濟關係復舊せられたる旨を發表せり（倫敦電報）

◎婦人參政とウ氏

米國大統領ウイルソン氏は議會委員に對し婦人に對する正當なる行動として議院は婦人參政權附與に贊成す可ものなりと勸告せり（華盛頓電報）

◎登錄所增設決定

司法省は大正七年度に於て全國に五十五箇所の登錄所增設に決定し之が經費として五萬餘圓を豫算に計上せり（東京電報）

◎大田橋本出向

鮮銀大田理事橋本同大連支店長は十二日午後八時半列車にて京城に向け出發せるが大田理事は遼陽に下車同地出張所披露宴を爲し十五日京城著の豫定なり（大連特電）

◎大田橋本兩氏

大田鮮銀理事は事務打合せの爲め十四日午前六時半通過本店へ向ふ筈なるが橋本同大連支店長も外國爲替會議列席の爲め十三日午前六時通過南行す可し（安東縣特電）

◎新炭鑛發見 直に出願す

京元線高山驛附近の畑地にて一大炭鑛を發見せる鮮人あり炭層十數尺に達し居るが有望にて元山田中鈴木の二氏其筋に出願せり（元山特電）

◎林公使更迭說は眞赤な嘘

▲歸朝の理由　林公使が更迭するとか言つて居ましたが確固した事は勿論判りません何？林公使歸朝の理由は政府が對支の材料を整備する爲めだらうと言ふ樣な解釋も當つて居ない何にあるならば時々膝を交へて其の間に一致點を發見すると言ふ事は非常に必要な事だと思ひます［illegible］

◎講和不調の眞相

［illegible］リトウスクに於ける平和協商は獨墺側のポーランド、リタウエン人［illegible］

◎會社の配當停止

露國過激派政府は私立會社の［illegible］（倫敦電報）

露都通信に依ればブレスト［illegible］を宣言せり又在露都英國大使は賜暇歸國を許され露國滯在中の英國軍事使節の一行も同大使と同行歸國に決せり（倫敦電報）

◎英病院船擊沈さる

全西比利亞會議を開催すべしと（露都電報）

英國病院船レーワ號は敵水雷の爲めブリストル海峽にて擊沈せられたり（倫敦電報）

◎京城商議初會議

事務所新築附議

京城商業會議所に於ける新春第一次の評議員會は既記の如く十二日午後二時より出席評議員二十三名を以つて東拓會議室に開催せらる是より先き原田會議所會頭議長席に著き一場の挨拶と共に開會を宣す二時三十分

▲議事に移り　曩きに役員會に附議せし▲商業會議所事務所新築の件を第一號議案として附議す原田議長先づ一應の說明を試み［illegible］

▲當局も希望　京城には公會堂の設置なく公會堂を兼ねる會議所の建築は［illegible］

［illegible］豫算の三萬五千圓を以つて如何程のものを建築し得るや若し之を以つて不充分なる時は進んで公會堂を兼備する會議所の建設も可なるべし［illegible］

▲結局異議なく第一號議案を議了し直ちに第二號議案▲歲出入豫算の件［illegible］

▲追加議案を附議せしが［illegible］閉會を告ぐ

▲政治的色彩を帶ぶるや否やは［illegible］純然たる商業機關［illegible］

▲若干名を物色したる［illegible］今回之と同行すべきは東京より上田省一君、京城より是迄朝鮮銀行竹下某君の二氏なり

◎府民奉送迎

李王世子殿下は十三日午後九時南大門驛發御入京二十六日午前八時四十分同驛御歸東に就き府民は兩日共奉送迎さる［illegible］

◎柿內滙銀專務

滙業銀行專務理事柿內常次郞氏は同行員上田省一氏及び北京著の上同行員に採用さるべき三名の青年を伴ひ十二日夜京城通過北行せり

◎神田釜山局長發期

新任釜山郵便局長神田金三郞氏は十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて赴任する事となりし［illegible］

◎竹內副官歸任期

新任商務副官竹內榮喜中佐は軍隊狀況視察の爲め大田地方へ出張中の處十三日午後歸任すべし

人事消息

▲［illegible］

▲［illegible］

◎百聞百種

近頃海陸武官連で臨池の業に親しむ人々が少からずあるさうな▲［illegible］いが多少素養のある人々は流石に相應の進境を示すが飛入連中には見込みの無い人が多いとの評判▲何と云ても山縣元帥で老來ますます雄勁の筆致を見るは陸海軍人を通じて何人も追隨を許さゞるは勿論である▲元帥の如きは例外として陸軍の現役將官中では大島陸相が傑出して居るさうだ▲陸相は青年時代から文墨に親しんだ程あつて今日では素人の域を脫して居るとか▲福島大將も書くには書くが地方到處大將の筆蹟あらざる無しだが落筆謹嚴飛入連の師とするに足るの時▲故伊東海軍元帥は海軍での第一人者の觀があつたが東郷元帥も立派な書家になつた▲元帥も當年縱横に囚はれざる頭は今は玄人の域を摩する樣になり市井も［illegible］一般に好評があつた▲［illegible］價も高く時に偽筆の行はるゝに至つて元帥も聊か苦笑して居ると［illegible］の話▲海軍に隱れたる書家がある山本鶴堂と云ふが容易に筆を手にせない恐らく海軍全體を通じて此の人に及ぶまいとの事▲鶴堂とは權兵衞大將の號である▲山縣元帥の戊午元旦の國風に曰く『西ひがしはせ行駒のすがたさへ雄々しく見ゆて年たちにけり』▲青島守備軍の本郷中將には勅題海邊松で『苦しまの浪の松もいでましの御船ぞ待つ時をこそ待て』成る程守備軍司令官らしい歌だ

滙業銀行の使命

純然たる商業銀行＝對支放資の一機關

滙業銀行專務理事　柿內常次郞氏談

滙業銀行專務理事柿內常次郞氏は十二日夜京城通過北京へ急行したるが其談に曰く

予は過般來病氣にて今尙全癒すと云ふに至らず主治醫は十三日迄は東京に在りて靜養すべく勸告したるも支那側には非常に開店を急ぎ居る爲め、已むを得ず醫師に妥協を申込み、隱藥携帶にて去八日夜東京を出發したり、而して十四日北京著、十五日創立總會を開くの豫定なりしも、東京出發後關西の大雪にて大阪へは十時間の遲著、且つ是非とも同地にて處辦の必要ある用事を抱き居たる爲め又も遲延、漸く本日朝鮮迄迪り著きたる始末にて到底豫定の如く運ぶ能はざるを以て

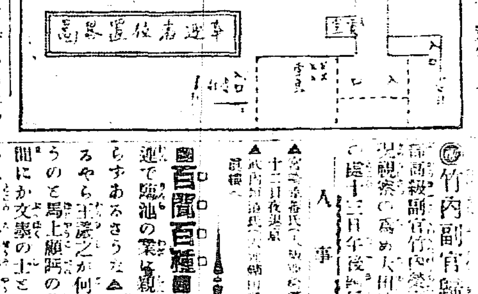
▲創立總會を來る十七日に延期し、二十五日より開店することに變更せり、偖て行名の滙業とは爲替と同意義にして即ち爲替銀行なることは周知の通りなるも之れのみを專業とするにあらず、委托販賣の如きも營業課目中に收めたり、然れば日本の製品を支那に輸し、又は支那の物產を日本に送りて夫々取引を行ひ、此方若くは新たに販路を拓く等、日支間の經濟關係を密接ならしむべく十分の努力を怠らざる覺悟なるが、更に滙業銀行は

▲對支放資機關として盡力すべき使命を有せり、例へば支那に於て紡績事業なり或は製紙事業の如きを起さんが爲めに、當行を通じて資金の借入れを爲さんと欲する者あらば、當行に於て調査の上事業の有利有益なるべきを認めたる場合は、其借入れの斡旋を爲すのみならず、債權者に對しては當行自ら保證の位置に立ち、事ゝ成るべきや否は今日の處不明なれるも、差當り上海に一個所の支店を開設するつもりなり、尙

▲支那の法律に依りて設立するものであるが、抑も當行の此事業は日支間經濟の結合を實現する事業にして、過日第一回分、双方の出資百五十萬圓宛の拂込みを了せり、中途曩きに大隈內閣當時日支銀行案は議會に於て握り潰されたるが、今次合辦事業として支那の法律に依りて設立さるゝに至り、日本の銀行としてよりは支那の銀行として奧深く進入すると云ふことを得るは誠に欣ばし、當行に於ては、支那各地の商埠八十個所內外に支店を設置するの認可を得居れるも、差當り上海に一個所の支店を開設するつもりなり、尙

▲銀券發行の認可を受け居れるが、強制通用せしむることは今日の處不明なり、如斯當行は重大なる使命を帶び、日支經濟上必要なる時務を行ふべく設立さるゝものなるが、支那に於て金融を有する機關の缺けたる樣になりては、不便を感ずるからさる困難を伴ふことゝならんか、支那の錢莊等が巧みに利益を占むるが如きは他國人の容易に企及し能はざる處なり、當行に採用すべき日本人行員の數は未だ決定し居らず、支那側にては某の課長某の事記と夫々選を了へ、予の著任を待ちつゝありと聞く由にて北京著の上

◆京城會議所の初會議



◎鮮銀幹部更迭

朝鮮銀行營業局長阿部秀太郞氏は今回大連支店長兼滿洲副總支配人に任せられ東京支店司事吉田節太郞氏阿部氏の後任に又大連支店長橋本萬之助氏は本店勤務を命ぜられたり

◎移民の豐年

昨秋朝鮮內東拓移民收容地に於ける米豆の作柄は概して好況にして加ふるに値頭の之れを前年に比し六七割方上値にあるため移民の收入は豫想外によく何れも其の好作を喜びつゝあるが從つて東拓徵收の移民收容地價の年賦も收納頗る好調にして大正六年度分の完納は勿論一般に遡つて累年未納の納入をなす者少なからず目下の所各年未納分の約半額以上を徵せりと

◎京綏鐵道不通

支那鐵道北京綏遠間列車不通の旨滿鐵京城管理局へ通知ありたるに付同局に於ては南口、張家口行聯絡乘車券の發賣及び手荷物の取扱を停止せりと

◎韓氏の支那視察錄

漢城銀行專務韓相龍氏は昨春南北支那を遊歷し廣く民情風俗經濟等を視察し歸來其視察記を當時本紙に連日記載せしことは讀者已に知る［illegible］

貿　大口　迎歡　黃金町二丁目長橋町　電話一九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

◎本日より晝夜開演　桃中軒雲右衞門長口演　浪花節五郞正宗　大寫眞　孝子傳　大好評　黃金館

大阪屋號書店

自修英語速成　日本英語速成會編　第一卷　同第二卷　同第三卷　各五〇

新興文藝叢書第四卷　漁村　和歌流式便覽　二人探偵　山國の怪　［illegible］

最新刊　春の海　紅海　集　名著　［illegible］

恩給年金立替業務開始　京城南大門通五丁目　大成社　電話一三五番

責任附有給外事係を招聘す　日本公債株式會社朝鮮支部

南部鐵瓶製造元　岩手縣盛岡市　御用命は富見商店

▲近江人各位に告ぐ　日時　一月十六日午後六時　會場　旭町一丁目千代本　會費　二圓五十錢　申込所　南大門通　近江人會幹事

二月號　寺田精一先生監修　幼年繪雜誌中拔群の好評　美い繪と面白い斷片讀物　トモダチ

移轉御披露　謹啓時下嚴寒の砌愈々御淸穆奉賀候陳者今般京城本町二丁目に於て營業罷在候處御陰を以て日々盛大に赴き候に付き［illegible］銘茶、砂糖、鰹節卸小賣　菊園　井上藤兵衞　電話八五番

月刊　農蠶之研究

奉迎　株式會社第一銀行京城支店　株式會社百三十銀行京城支店　株式會社漢湖農工銀行　株式會社朝鮮商業銀行　株式會社韓一銀行　株式會社漢城銀行　株式會社京城銀行　株式會社十八銀行京城支店

京城明治町　糸紐造花　尾琴屋

今回中根商會を以て朝鮮全道の代理店たらしめ候間何卒當社同樣御引立被下度奉希上候　東京鋼機株式會社

在庫品大器　汽罐　鑛山用各種機械　排水ポンプ　坑內用押上ポンプ　瓦斯及石油機關　動力用モートル　八時以下の瓦斯機關　類ベルト　革車類　中根商會　販賣部京城南大門通五　製作工場　龍山

時計及蓄音器卸商　堅實創立明治二十八年　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五番

▲使館附徳川書記官談

十一日入京せる北京公使館附徳川書記官は語りて曰く……林公使は此の二十日頃東京を出發……全然間違つて居る……が何よりの證據ではないか。又今先づ其んな所でしやう。實際政府の對支政策に關する答と公使との意見に幾分でも疎隔が……ば直ぐ本省迄歸れる事ですからね

●白大理石に、紅の絨氈に

今日を待つ石造殿

◇朝鮮に於ける至美の建物◇

◇世子殿下晴れの御宿所◇

李王世子殿下には七年振りにて御歸鮮、十三日午後九時南大門驛着列車にて御入京、直に德壽宮に入られ咸寧殿に於いて李太王、李王同妃各殿下に御對顏の上御宿所なる同宮内石造殿に入らるゝ筈なるが、同殿は純英國式の清雅なる宮殿風建物にして明治三十年時の韓國政府總税務司たりしヂエー、マクリツキ、ブラウン氏の建議によりて同三十一年以降四十三年までの間に於いて日英人技師その他の諸役人の手に當營せられたるもの

◇その當時朝鮮に現存の◇

朝鮮に於ける至高至美の建物たり、同殿の内部の模様を如くに地下室十三室、一階九室、二階十三室にて玄關正面には、切石を以て築ける約五間餘の階段あり、左右正面の廻廊は徑三尺の石材の圓柱を以て圍らされそこに崇嚴の感に打たるゝものあり、玄關を入れば諸員溜の大廣間にして其の左方は三十餘人を容れ得べく

◇絢爛なる装飾の食堂右方は◇

華麗なる装飾の控室にして控室に隣りて陪闕控室あり然して玄關諸員溜の間より中央の階を排して進めば、接見室あり室内の器具調度は絢爛を眼を奪ふばかり美しきものにして赤茶殿の氣室内に充滿せるを覺ゆるものあり接見室と壁一ツ隔てゝ婦人食堂、男子食堂あり、いづれも二十餘人を容るゝに過ぎざれどもその装飾設備に至りては彩華端麗眼を驚かすものゝ夥しさ

◇階上には善美を盡せる◇

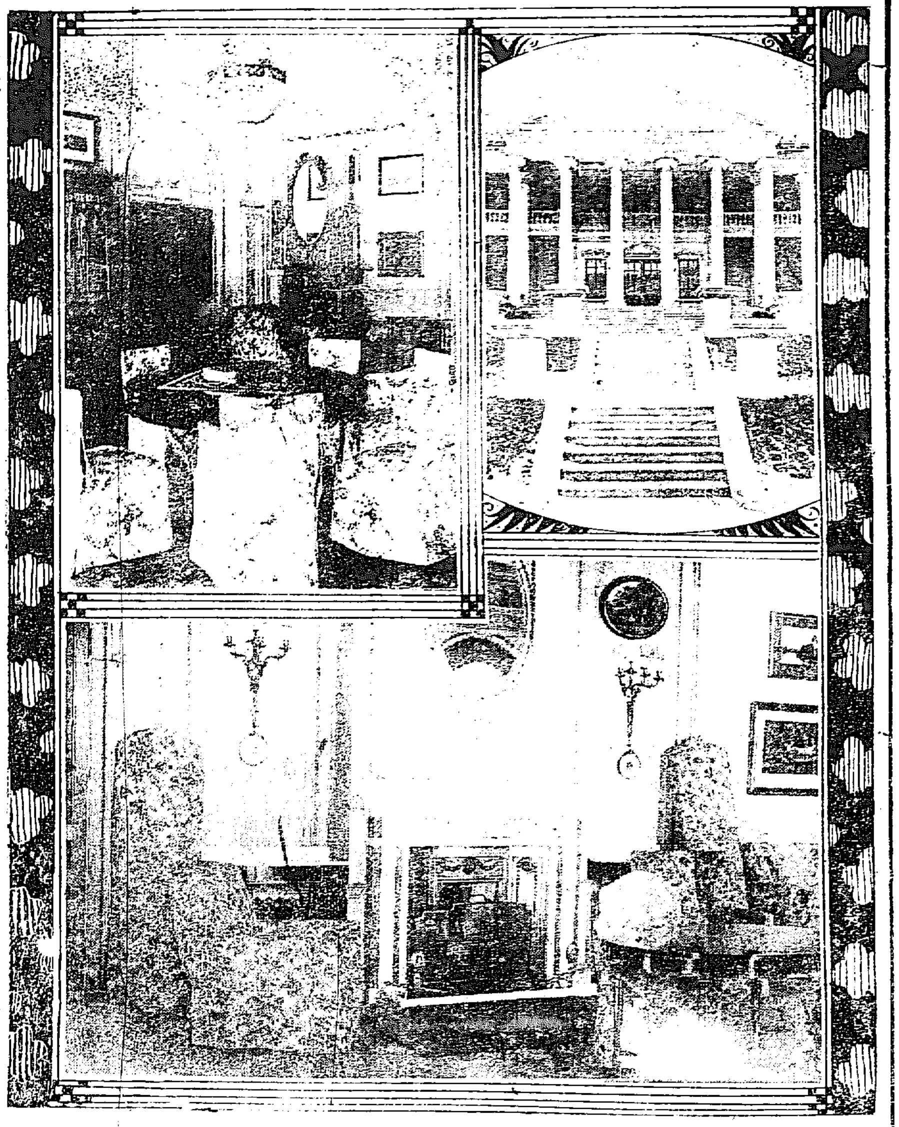
兩殿下の御居間の硝子張の扉を界として隣り合へる御寢室あり更に御居間と向ひ合て兩殿下用浴場、洗面室、圊廁、侍者の居室、寢室浴場等あり、亦地下室には廚房、下人室、機關室、倉庫その他十三室にして廚房の如き清潔無比のものたり、地下室を除く以上各室の床は凡て寄木張にして室内には室々によりて

◇それ〳〵趣を異にせる◇

花模様の絨氈を以て敷き詰め、廊下の中央赤絨氈を以て覆へり、室内の楣間壁間には金色燦然たる大小の額縁には風景人物等の西洋畫多數掲げられ、一層の美觀を添へ居れり、その他

◇純白の大理石を以て造れる◇

たる花臺、鏡臺、燭臺或は精巧精美の花瓶、置物の陶器、配色とりどりの窓掛け、さては机椅子の類に至るまで雅麗精美を以て滿たされ居り、尚各室には蒸汽暖房の裝置ある外、瓦斯ストーブの設備あり今回久し振りにて王世子殿下を迎ふべく遺憾なく設備されあれりといふ



◆王世子殿下の御宿所たる石造殿
（右上）表階段（同左）御居間控室（下）

◎昔懐しき御物語

◇下關の李王世子殿下◇

——御總故淺からぬ春帆樓の三階から海峽の美景を眺められつ——

李王世子殿下には閔長官等隨員十二名を從へ十二日午前九時三十八分豫定の如く下關驛御著ありたり、是より先き同驛には白水下關要塞司令官、不破市長、明石港務官、水陸兩警察署長等多數出迎へたるが殿下には長途の御旅行に些の御疲勞も無く

◇陸軍少尉 の軍服に勲一等旭日章副章を佩ばせられ出迎者に一々御會釋を給ひ直ちに腕車にて春帆樓へ入らせられたり思ひ起せば去んぬる明治四十年故伊藤統監と御同行御宿泊遊ばされたる三階の座敷に入らせられ、此の日空名知なく晴れ渡り

◇小春日和 の如き暖かさ殿下には御學友と共に給の門の風光を指呼の裡に俯瞰めさせられ過ぐる日統監と倶に御來關の砌小學校の展覽會式場長府に成らせられたる昔を語り出され太く

◇追懷の情 に堪へざるもの如く拜せり、殿下には一日同地に御休憩の上同夜發連絡船櫻丸にて愈々七年振にて御歸鮮の途に就かるゝ筈なり下關市よりは名産泡雪を獻上せり（門司特電）

◎和田博士追悼會

十二日曹洞宗別院にて山縣政務總監以下參拜

故仁川觀測所長理學博士和田雄治氏の追悼會は十二日午後一時より若草町曹洞宗別院に於いて營まれたるが別院本堂正面には故博士の靈位を置き

▽法燈 嚴に搖曳する所故人の知己先輩によりて供へられたる香華、菓果等の奠物あり定刻導師高田穎哉老師以上僧侶參拜者一同の著席終るや宇佐美内務部長官吉……つて追悼文朗讀し次いで僧侶讀經

▽拜禮 等あり、それより山縣政務總監、宇佐美長官、勞賀……

士、持地遞信局長官その他の職序にて順次燒香を爲し二時終了したるが當日の主なる參拜者は以上の諸氏の外李王職次官代理、關屋局長、岡本遞信局技師、釜屋海軍少將、久水外事課長、金谷府尹、平田仁川觀測所長民間側より原田朝鮮新報社長代理釘本藤次郎、田中半四郎の諸氏を始め官民有志五十餘名の參拜ありたり

◎滿洲ペスト蔓延

滿洲に於けるペスト病益々蔓延の兆あり（奉天電報）

◎情死を企てし機關兵の縊死

旣報慶南鎭海にて馴染娼妓と詳細相枕の一龍事林田ちも（二〇）と一月四日朝無理情死を企てゝ果さずし驅逐艦村雨乘組の二等機關兵小丸作松（二七）はちもの死後行衛不明となり捜索中なりしが同人は七日朝連絡船にて下關に上陸し姉婿なる同市長崎町小玉龜市方に立寄りて季恩賜休暇十日間を得て來れる旨を告げて同夜一泊し翌八日午前一時頃立出でたるまゝ同市日和山の立樹に麻繩にて縊死を遂げ居たるを九日午後四時頃發見し係官出張檢視せり而して艦長高橋大尉、東洋商會櫻主直井五郎松、情婦ちもの實父熊本縣天草郡楠甫村林田辰次、實父小丸淺五郎の四名に宛てたる四通の遺書を携へ居り其の封筒には谷の錢切手を貼付しありたるより見れば多分鎭海の兇行後に認めしものならんと屍體は姉婿が引取れり

◎鮮人の鐵道自殺

原籍鍾路六丁目萬千興（二五）と云ふは去る九日仁川へ來り内里海東旅館に滯在中なりしが十一日午後四時頃旅館を外出多朱面長意鐵道踏橋附近に於て線路へ首を當て恰かも四時三十分着の列車進行せるを待つて自殺を遂げたり

◎窮民へ同情

本紙所載仁川海岸の朝鮮窮民の救濟に同情の主なりし堪へずとし本町一丁目の平田禮惠八氏より之等窮民救恤金として金二十圓を本社に託し其の處分方を依頼し來れり

◎行餘會●總督府の新年會●

總督府給仕連中が組織して居る行餘會では太田主任の催しで十二日午後一時から第一會議室で新年會を催したが、太田主任一場の訓示的談話に次ぎ德育と修養に……講演があつてそれが終ると餘興として福引粉の……會員一同大恐悦で午後四時散會した

◎妙心寺提唱

臨濟宗妙心寺別院にては十三日午前十時より普覺大慧禪師書狀の提唱あり參聽隨意

春場所大相撲

二日目 ——十二日午後十時東京特電——

勝	玉柳	太刀嵐	錦洋	紀の川	羽州山	大の里	琴ケ浦	若常陸	彌高山	大の高	大門岩	福柳	一湊	眞砂石	玉手山	黑瀬川	千葉崎
	踏切り	突出し	寄切り	打棄り	吊出し	突出し	寄倒し	打棄り	打棄り	浴せ掛	押切り	掬ひ投	出し投	首落し	休	浴せ倒し	吊出し
負	峰櫻	浪ケ泉	鶴ケ濱	白岩	龍ケ峰	日出山	綾川	八甲山	鶴渡り	若島	藤の川	明	清瀬川	小常陸	對馬洋	宇都宮	駒泉

勝	大潮	常の花	逆鉾	鳳
	吊出し	寄切り	突出し	寄倒し
負	九州山	大鳴門	伊勢濱	源氏山

中入後

勝	八重高	石山	三杉磯	釋迦嶽	浦の濱	紅葉川	兩國	栃木山	大錦
	寄切り	小手投	寄切り	押切り	蹴落し	押切り	掛常れ	寄切り	寄倒し
負	玉の川	龍ケ崎	岩木山	鬼鹿毛	達の矢	宮城山	大戸平	錦島	敷島

右の内◙若常陸●に八甲山●は右四ツにて八甲吊り身に寄り進むを打棄つて若の勝◙彌高山●に鶴渡●は右四ツにて鶴の寄り進むを打棄つて彌高の勝◙若島●に大の高●は右四ツ若の吊らんとするを外掛けに浴せ倒して大の勝◙藤の川●に大門岩●は右四ツにて寄り合ひ藤寄り進むを大門土俵際にて大きく上手投を打つて極る◙明●に福柳●は四ツ强味に寄り進み明が首投げを打たんとするを堪へて掬ひ福の勝◙清瀬川●に湊●は右四ツにて清瀬再三例の内掛けに行きしが利かず一の出し投げ見事に極る◙眞砂石●に小常陸●は一寸突き合ひ小常陸の突進する處を掬ひ落して眞砂の勝◙玉手山●に對馬洋●は休み◙黑瀬川●に宇都宮●は黑瀬素早く二本差しとなりたれば其れを兩上手に抱へ込み外掛け掛れ込まんとするを反對に浴せかけて黑瀬の勝◙千葉崎●に駒泉●は駒相撲らす容易に立たず心行くばかり待ツたが仕切り直しの駒の突き掛かるを漸くにして立ち上るや右四ツとなるや千葉強引に受けて振り廻す事二三回の後吊り出して千葉の勝は大きい

◙大潮に九州山 は常に第一の好取組なり潮立上り様二本差すを强引に出れば九州之を外掛けに防ぎつゝ其の儘押し切らんとするを潮何のと踏み耐へ全力に吊り出して潮の勝は滿場大喝采を博せり

◙大鳴門に常の花 はバッタリ右四ツに渡り常塲つて寄り鳴門の腰のグラツク處を得たりと付け入り寄り切つて常の勝は大喝采

◙伊勢濱に逆鉾 は逆突いて立つを伊勢受け止め其左手を手繰つて四ツに渡らんとするを逆嫌つて振り拂ひ左手を以て伊勢の顎を攻めて押し伊勢が土俵を廻つて竢すを隙さず突出して逆の勝◙源氏山●に鳳●は双方の呼吸合はずして立合ひに漸く二眼取り、しかも鳳立上るや源氏素早く差とならんとするを源氏の首に捲き强引の首投げを打たんとする隙に腰を引いて嫌ひ寄り倒して鳳の勝

中入後

◙玉の川●に八重高●は玉の右を差し反對に足取りに行きは八重高一寸寄り切る◙石山●に龍ケ崎●は激しく突き合ひ互ひにイナシ合ひ明き合つて十俵一杯に暴れ狂ふ中龍ケ崎左を差して寄る處を上俵際に小手投を打つて石の勝は激相撲◙三杉磯●に岩木山●は右差し無造作に寄り切つて三杉の勝◙鬼鹿毛●に釋迦ケ嶽●は釋迦激しく突き掛け右手を矢筈に構へて押し切る◙浦の濱●に達の矢●は達例の通り鋭く突き掛くるを浦押へ右手を以て逆の首をかき著首落し綺麗に極る

◙紅葉川に宮城山 は紅葉立上り様例の迅射突きに張り進み宮城の浮足立つてヨロめくところへ付け入りて押し切り紅葉の勝◙大戸平●に兩國●は左四ツ大戸の上手投げを外掛けに雪崩れ込みて兩國の勝◙錦島●に栃木山●は栃木寄り進むを錦島耐へて肩透かを引きしが利かず付け入りて左四ツ栃木の勝◙敷島●に大錦●は右四ツ寄り切り倒して大錦の勝は四時五十分打出したり

▲三日目取組

鶴渡●綾川●龍ケ崎●小常陸
若常陸●島川●琴ケ浦●玉の川
栃木山●釋迦嶽●宇都宮●大の高
石山●三杉磯●敷島
達の矢●對馬洋●大門岩●兩國
紅葉川●浦の濱●千葉崎●大潮

中入後

源氏山●栃木山●大錦
大鳴門●眞砂石●錦島
福柳●八甲山●一湊●逆鉾
藤の川●清瀬川●鬼鹿毛●彌高山
駒泉●九州山●常の花●宮城山
黑瀬川●大戸平●伊勢濱●鳳

▲玉手山休場

玉手山は例の神經痛再發のため休場せり

◎捲込まれて變死

仁川萬石洞朝鮮物産會社使用人曹壽默（三〇）は十一日午後一時同所籾摺工場二階精撰器のシヤフト帶革に捲込まれ誤つて即死を遂げたり

◎新年應募文藝

賞品は十一日發送せしも左の七氏は住所不明なるを以て至急居所を通知せらるべし平原絹子、京城本町、村重、山里一葉、打子、公州龜川末乃、慶州酒井俳句會、牛壕白山四郎

▲該地方より撤兵を拒絶せる爲め露國過激派の感情を害し過激派政府の外相トロツキーは獨墺側が絶對に撤兵を拒絶するに於ては平和協商に應ぜざる旨

◎全西比利亞會議

……は該會社の國有となる迄之を停止せしめたり（倫敦電報）

◎土耳其斯坦獨立

トムスクに於て……（十二日）

山櫻ダイナマイト

弊店儀各位の御引立を蒙り御陰を以て業務益々盛大に趣き候段深く奉感謝候然るに客年來ダイナマイト在荷拂底の爲め御注文に應じ兼甚だ不本意に存じ居候に就ては特に日本火藥製造株式會社に協議の上出來得る限り御便宜相計り度少々準備仕候に付御入用の節は御注文相仰度御願申上候

該社製品山櫻印ダイナマイト山梅印ダイナマイトは何れも昨年初夏發賣以來各鑛山にて御使用相成り品質の優良威力の强烈なる事は外國製ダイナマイトと倶に既に數等の勝れる官製ダイナマイトに有之一般の御賞贊を博し居候次第に有之候間是非共に御購求被下度準備品の數量は極めて此際他品に御用命の節は可成御一電賜り度小額御購求の節は底額に御付申上候 頓首

日本火藥製造株式會社製品販賣所
川口屋 林銃砲火藥店
東京市日本橋區本銀町二丁目 電話本局特長九百二十一番 千七十五番

山梅ダイナマイト
追而現品は福岡縣飯塚町熊本縣熊本市山口縣厚狹岩内町秋田縣大曲町青森縣青森市及大阪東京各火藥庫に貯藏致居候に付迅速御用命に相應可申候

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
…御値がお安いです
京城本町二丁目角
古城贊化堂
電話一〇二番 振替七三七番

内科小兒科 外科
花柳病 婦人病 外科
京城黃金町一丁目（長橋通角）
診療 朝鮮病院（入院隨意）
（電話二八〇七番）

釀造元 合名會社清力商店
清力京城支店
清力出張店
清力釜山支店
清力平壤支店

小鳥捕用
カスミ網
高さ六尺 長さ三間 二圓
高さ六尺 長さ十五間 四圓
（極上品）◎其他鴨網無双網等種々あり
京城旭町二丁目 吉備商會 振替京城四二六番

◎町大金利 財産がズンズン殖える
興產研究會

京日案內

八道具花札外
家具商 …
社員入募集
鑛物各種分析 松永分析所
鑛物各種分析 田部分析所
小供入用 年齡十五六歲
南方商店
恩給立替 西村商會
勸業債券買入 光國社

友人海浦篤彌氏母堂きゑ子殿去る十日郷里青森縣西津輕郡深浦村に於て逝去相成候に付此段謹告仕候也
大正七年十一月十二日
友人 工藤英一 宮館貞一 和田常市 明石桐一

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百十九回　編笠浪人（十三）

桐島は一身の境界から、米屋へ行つた歸り道に死を決した顛末、父の名は明白に告げねど、貧苦の爲めに邪路へ走つて、時には道ならぬ行爲をする事まで、脱漏も無く物語つた

『わたくしが居ては、父の我を折れまいと存じます、同じ死ねなら少しでも役に立て、假へお一方の飢渇でも、お救ひ申したいと思ふ一心から、失禮なことを申し上げ、押て御不審を蒙りました、生きるにも生きられず、死ねるにも死なれぬ、儚れな境界を御推量なさいまし』と云ひ終つてまた泣き入る

主膳の目に一ぱいの涙が溜る、桐島の境界に同情した爲であつた

『さて〳〵御苦勞を遊ばすのう、兎角世の中は思ふように參らぬもの、身共の主人が、まだうら若いお身をなされて、斯樣に諸所を流浪遊ばすも、云ふに云はれぬ事情があるからでござる』と宗之助も同情の聲で云つたが『して御親父は久しうお不在でござるかの』

『いゝえ、平夜に出たのでございます、偶に出ることがございましても、戌刻か亥刻にはきつと皈つて參りますのに、今夜はまだ音沙汰がございません、好い處へ參つたのではございませんゆゑ、もしもの事がありはせまいかと、夫も心配して居ります』

『もう彼是九つ刻を過ぎて居よう御大酒を爲さるとあるから、何處かに酔ひ潰れてお在でなさるのではないか』

『そんな事なら、何樣に嬉しいか存じませんが、萬一怪我でも致して居るのではないかと思つて、心配で胸を抱いて居ります』

『大丈夫な、たとへ御病人は[illegible]、お手前の心懸けは天道御覽なされ、手前ども永の間諸國を遍歴つたが、自分の肉を切り裂いて、馳走しようと仰せ下されたお方は無い、そのお心が早や佛でや、何とお禮を申さうようもない』と深く感謝の意を陳て後『和御祭、お名は何と申すな』

『桐島と申します』

『桐島どのお年紀はお幾歳かや』

『十八歳でございます』

『まだお若い、而て御親父は？』

桐島は不圖詰つた、初對面の人に向つて、父の名を耻かしめるに忍びなかつた、さりとて名を僞るも心ないと思ひ付いて

『こればかりは御免下さいまし、父の名は申しかねます』

『それも御有理、さらばお訊き申すまい』と云ふ中に話頭を轉へて

『甚う遲いの、お宿を借りた御恩報しに、この邊までお迎ひに參らうか』

『いえ〳〵、左樣になされては恐れ入ります、わたしの一命が繋ねましたら、それを父への諫言に取り上げうと存じましたが、お取り上げなくば是非に及びません、命のあるだけ父に仕へて終ります、あなた方お構ひなくお寢み下さいまし』

それにたつた一枚殘れた搔卷がございます』

桐島は納戸の方へ指した

『千萬忝い、それでは主膳樣、少しでもお寢みなさいまし』

『わたくしは桐島どの歸りを待ち受けます』

[illegible]

『いや、わしも寢たらない、[illegible]に桐島どの[illegible]して[illegible]』

主膳も[illegible]

宜情が[illegible]、桐島は主膳の面を見るたび、主膳の顔を[illegible]で、胸が躍ぎ、[illegible]

『何故であらう〳〵』と獨り心に不審した

口馬の傳説

◎殺馬　朝鮮では習慣上馬の後脚に白點があるとか眉間に少白點があると殺主馬と云つて非常に嫌忌するのだが、これは寸らいふ馬は必ず人を振落す癖があるからだ、その他りさうい斑點が對になつて居る時は凶な相殺ぐと云つて俺はねそうだ、又朝鮮で病馬を檢査する時は夜眼を取つて見るがそれはその馬の病氣が熱病の時は夜眼が容易く取れて他の病氣の時には決して取れるものでないさうだ。朝鮮では下流社會で馬肉を稀れに食ふ事があるが上流中流に於て決して食べない。それは馬といふものは主のために盡す義理のある動物であるからださうだ。

◎馬の情　馬といふものは中々義理の固いもので野放しをした馬が病氣になるとか或は御用をした時には仲間の馬が大勢寄つて集つてしきりに鼻息を吹いてそいつを温めてやるさうだ。

初東風

（新年雜俳句選抄）

初東風や街頭に椅は何は問き　南山（平壤）
初東風や入船並ぶ港口　東海（京城）
初東風に風呂東が鍛る哉　京城同
初東風に動く百船の標旗哉　草亭（同）
初東風に風を鉛ぶ人譽哉　宵庵（同）
初東風の凍る寒き社殿哉　貞女（京城）
登廳の顔初東風の渡る哉　如泉佛（元山）
初東風に風揚げる小供哉　宵鴨（鳥致院）
半島の初東風白鶴の群れ立ち　千女（京城）
七面鳥重る歩みに初東風す　十六（大田）
初東風の國旗をまとる馬上哉　さだ子（公州）
初東風に我騙馬耳動かせる　千畝（清津）
初東風に健や羅を光せる　研南（南原）
芝居幟藍も包みや東風に　斗星（京城）
初東風や紀る小鳥が樹搖ぐ　自樂（大同）
初東風や商摸る家並の汗町　森桑（海州）
初東風に離る彫像の木屑哉　春濤（京城）
初東風の門深う鳴る皷哉　風骨（大田）
九冠島の舸子等語る初東風す　松造（洪城）
初東風の丘に蹲る病門哉
初東風に干潟に群る白鳥哉　[illegible]

百人一首

冬雜詠

初東風の峠を渡れる光り[illegible]
初東風や[illegible]
初東風を帆[illegible]
[illegible]
温突の煙[illegible]
北風に[illegible]

新刊紹介

▲中外新論（[illegible]）[illegible]
▲ダーリスト（[illegible]）[illegible]
▲令延新聞（[illegible]）[illegible]
▲天眼通（村上浪六著）[illegible]
▲謠曲集譜（[illegible]）[illegible]
▲少年科學（[illegible]）[illegible]
▲印度の佛教（[illegible]）[illegible]
▲スネーク（[illegible]）[illegible]
▲小學生（[illegible]）[illegible]
▲新時論（世界的[illegible]）[illegible]
▲米界（十年[illegible]）[illegible]
▲東亞之光（時局と精神問題號）[illegible]
▲後場當限十九圓九十錢[illegible]

森[illegible]病院

無病長壽を希ふ人は
人蔘エキスを
親しむ方は一生健全也

津村兒市商行

内用　痔退丸（ぢたいぐわん）
外用　退痔劑（たいぢざい）

一般に信用ありや一夫れは直にして其品質の良なることは證據である[illegible]

●内用　痔の根治を期す[illegible]
●外用　は肛門[illegible]

定價　内用痔退丸　一週半分五十錢　二週半分一圓
外用退痔劑同價

本舗　安川晃榮堂
東京日本橋區[illegible]町　振替東京二四九一番

百圓進呈
りん病・ばい毒
帝國醫科大學[illegible]

にせ物と好商
大阪有田
にせ物[illegible]
通貨でも偽造する惡奸あるの中だから止むを得ざる譯なれど[illegible]
大阪有田製藥所
南大門外　大阪有田多商會
黄金町三丁目　大阪有田多商會
大阪有田ドラッグ商會
京城南大門外停車場通

Ｍ印
ゴムマリ

不思議な効ある
タンセキに
呼吸器散
呼吸器丸
丹平商會藥房

恒例の新刊　製本出來　昨日著荷
大正七年
國民年鑑
四六版八百頁　定價金六拾五錢　郵税八錢
日本に於ける唯一の年鑑を見よ！
我國民年鑑は今や事實に於て日本に於ける唯一の年鑑として何者も企及し得ざる權威と勢力とを有す内容の豐富統計の精確巧妙の編輯年と與に愈出て愈妙を極め好評天下に遍し而して定價の低廉なるは是れ本社の江湖に酬ゆる微意なり請ふ倍舊の愛用あらんことを
發行所　民友社
朝鮮發賣所　京城日報社代理部
取次所　大阪屋號　巖松堂ウツボヤ書店

良藥　たんせきセキドミン　拾錢　貳拾五錢　五拾錢

高尚なる方々の御使用に適する高尚にして品位ある化粧液は美顔ユーマー!!

眼科專門　入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓前（電話二〇四四番）
日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、特製配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗濯曹達
京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　電話九七三番　振替口座京城〇〇四番

產科婦人科　二宮醫院
京城壽町　電話一二〇一番
醫學士　二宮亮吉

貯蓄預金　元金壹圓ニ付日歩壹錢三厘ニテ御預申候　壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町電話四三〇番五八四番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

金泉間自動車著發時刻
[illegible]

織居自動車部金泉支部
▲小荷物運搬仕候
金泉電話四八番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　一月廿二日後四時出
大有丸　一月十五日後四時出
君代丸　一月十九日後四時出
神代丸　一月廿四日後四時出
仁川大阪直行
電話五十九番　尚杉回漕部

日本郵船仁川出帆
三河丸　一月
營口丸　一月廿一日
高砂丸　一月三十日　正午出
仁川港町一丁目　堀回漕部

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行、秦皇島行
共同丸　一月十六日午後入港　一月十八日前十時出
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
京城南大門（電話二六八〇）
龍山代理店　田口回漕店
京城取次店　河村出張店

釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　一月四日後五時出
立神丸　一月廿四日後五時出
元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸十二月廿三日後十時出
立神丸十二月廿三日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天草丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日）午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　一月　日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　一月　日後六時出
釜山本町一丁目　大池回漕部

朝鮮郵船
○元山より北鮮各地經由[illegible]行
咸鏡丸　一月十三日
第二高運丸　一月十九日
京畿丸　一月　日
忠清丸　一月　日
×元山より北鮮名地經由[illegible]行
○咸鏡丸、京城丸、頭城丸、忠清丸　[illegible]
平安丸　一月　日
○大阪神戸行（釜山門司經由）
○元山より釜山鐘門行
京畿丸　一月十五日
第二高運丸　一月廿四日
○元山ヨリ沿岸港寄港
咸鏡丸　一月
忠清丸　一月廿一日
○麗水、[illegible]行
忠清丸
○江陵丸　毎日
○済州島行長承浦[illegible]
昌平丸
○済州島行（[illegible]）
○慶興丸、公州丸
○釜山、統營、[illegible]
統營丸
○木浦行
天草丸
○[illegible]
慶興丸
○仁川木浦行
晋州丸
金海丸
○仁川行
宗信丸
○済州行
全州丸
南陽丸　休航
○青島行
江原丸
○清津行（大阪神戸門司より）
平壤丸　一月十三日
釜山港　釜山支店
元山港　元山出張所
仁川港　仁川代理店　堀
木浦港　木浦代理店　山野
京城南大門　松原運送店
本社京城[illegible]町　電話[illegible]

大阪商船株式會社
汽船出帆廣告
仁川出帆
○神戸大阪行（釜山寄港）
大智丸　一月十四日
木浦丸　一月十六日
安東丸　一月十八日
安東丸
大連行
安東丸
[illegible]
南浦行
[illegible]
上海行
[illegible]
宮島丸、[illegible]
南米行　毎月一回
北米行　毎月二回
孟買行　毎月一回
南洋行　毎月一回
[illegible]
大阪商船株式會社
京城出張所
仁川支店

[illegible]

市況

下期米　十一圓[illegible]
大阪期米　[illegible]
十二日後場　當限寄付二十三圓七十五錢　中限二十三圓六十錢
後場當限十九圓九十錢
中限二十[illegible]十九圓九十九錢半
[illegible]
仁川期米
十二日の三月限　寄付二十一圓四十五錢　[illegible]
に先七錢より九錢と七錢と伸し七錢と打止めたり